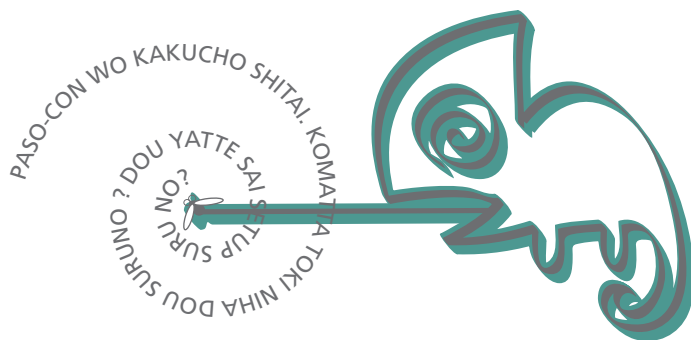




VALUESTAR

活用ガイド

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

- ◆ 本機を安全に使うための情報、添付品の確認、本機の接続、Windows 98のセットアップ、インターネットへの接続方法
→『はじめにお読みください』



- ◆ Windows 98の基礎知識、基本的な操作方法
→『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』、またはWindows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』



このマニュアルです

- ◆ 本機の各部の名称・機能、増設方法、システム設定、本機にインストール/添付されているアプリケーションのご利用にあたってのご注意、再セットアップ、トラブル解決方法
→『活用ガイド』



- ◆ ディスプレイのユーザーズマニュアル
→ ディスプレイがセットになったモデルの場合は、利用方法が記載されたマニュアルが、ディスプレイに添付されています。



- ◆ アプリケーションの利用方法
→ Office 2000 PersonalまたはJustsystem Homeがあり、マニュアルが添付されています。



- ◆ パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介
→『NEC PC あんしんサポートガイド』



この他にも、本機には「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」に次の電子マニュアルが登録されています。電子マニュアルでは、以下の内容について説明されています。目的にあわせてご利用ください。

- ・ トラブルの解決方法→「トラブル解決Q&A」
- ・ アプリケーションの追加と削除→「アプリケーションの追加と削除」
- ・ システム設定→「BIOS設定」
- ・ ATコマンド→「ATコマンド」
- ・ 追加情報→「追加情報」



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたパソコンの基本的な説明や拡張機器の接続方法、このパソコンに添付されているアプリケーションの概要などについて記載しています。このパソコンを正しくお使いいただくために、本書をご活用ください。

このパソコンを利用するために必要な準備作業や、添付品の中身については『はじめにお読みください』をご覧ください。

なお、Windows の基礎知識や操作方法については、添付の『Windows98ファーストステップガイド』やWindowsのヘルプなどをご覧ください。

**2000年 4月 初版
2000年 5月 二版**

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



メ モ

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、本機を指します。
「スタート」ボタン→ 「設定」→ 「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
ジャストホーム	Justsystem Home (一太郎Home、カaramel、楽々はがき、フォ トシアター、デジコレ、キーボードファイター、写真スタジ オ、文字スタジオ)
MS-IME2000	Microsoft® IME 2000
MS-IME98	Microsoft® IME 98
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.0J

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

このマニュアルに記載のイラストおよび画面は、実際のものとは異なることがあります。

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次の通りです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認証機器名：SF-DJPA-ST

認証番号

電話回線：A99-0794JP

導入にあたっては、「MDMNDJPA.INF」または、「MDDJPANT.INF」のファイルを含む専用ドライバを必ず使用してください。

使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

■レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましても、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows 98、NetMeeting、Outlook、およびWindows 98のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Justsystem Home」にかかる著作権、その他の権利は、株式会社ジャストシステム、および各権利者に帰属します。「Justsystem Home」、「ジャストホーム」、「一太郎Home」、「カラメル」、「葉々はがき」、「フォトシアター」、「デジコレ」、「キーボードファイター」、「写真スタジオ」、「文字スタジオ」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

AMD、AMDロゴ、K6-2、3DNow!、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標であり、AMD-K6-2は同社の登録商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

ニフティサーブ、@niftyはニフティ(株)の商標または登録商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLはAOLの登録商標です。

ODN(Open Data Network)は日本テレコム(株)の登録商標です。

DIONは、第二電電株式会社の商標です。

NEWEBは、KDD株式会社の登録商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の本国またはその他の国における登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Corporationの登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

ES1938 Solo-1は、ESS Technology, Inc. の商標です。

BIGLOBE、PCポータルは、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 周辺機器を利用する

周辺機器を取り付ける際の注意点、周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、PCI ボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART3 システム設定

ここでは、BIOSセットアップメニューで変更した設定を購入時の設定に戻す方法と設定したパスワードの解除方法について説明しています。

BIOSセットアップメニューによる、その他各種設定方法については、電子マニュアルをご覧ください。

PART4 アプリケーションご利用時のご注意

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションをご利用になるにあたってのご注意を説明しています。

PART5 再セットアップするには

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップ CD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元する方法を説明しています。

PART6 トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

PART7 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	v
このマニュアルの構成	vi
目次(このページです)	vii

本体の構成各部 1

各部の名称	2
本体正面	2
本体背面	5
電 源	9
電源の状態と操作方法	9
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	12
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	15
キーボード	18
キーの名称と使い方	18
アプリケーションキーとWindowsキーについて	21
日本語入力	22
使用上の注意	24
マウス	25
使用上の注意	25
ディスプレイ	26
表示できる解像度と表示色について	26
適合するディスプレイを使う	27
使用上の注意	28
ハードディスクドライブ	29
ドライブ番号の割り当て	29
システムツールについて	30
使用上の注意	31
フロッピーディスクドライブ	33
使用できるフロッピーディスクについて	33
フロッピーディスクの内容の保護	33
フロッピーディスクのフォーマット	34
CD-ROMドライブ	35

再生できるCDの種類	35
非常時のディスクの取り出し	36
CD-R/RWドライブ	37
再生できるCDの種類	37
CD-RおよびCD-RWへのフォーマットおよび書き込み	37
非常時のディスクの取り出し	38
サウンド機能	39
スピーカ	39
FAXモデムボード	41
FAXモデムボードについて	41
FAXモデムボードを使用するときの注意	42
ヘルプの表示方法	46
特定の操作手順についてのヘルプ	46
設定項目のヘルプ(画面に表示されている項目についてのヘルプ)	46
NECマニュアル(電子マニュアル)	47
NECマニュアルの概要	47
NECマニュアルの起動方法	47
周辺機器を利用する	49
接続にともなう注意点	50
接続前の確認	50
プラグ&プレイ セットアップについて	50
デバイスドライバの追加について	51
接続時に注意すること	51
接続がうまくできない場合	52
リソースの競合が起こったら	53
接続できる周辺機器	55
本体カバー類の取り外し	57
レフトカバーの取り外し	57
レフトカバーの取り付け	58
フロントマスクの取り外し	59
ファイルベイカバーの取り外し	60
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	61

PART

3

PART

4

取り付け前の確認	61
増設RAMサブボードの取り外し	63
増設RAMサブボードの取り付け	64
メモリ容量の確認方法	65
PCIボードの取り付け	66
取り付け前の確認	66
PCIボードの取り付け	67
別売のPCIグラフィックアクセラレータボードをご利用の場合	69
ファイルベイ用内蔵機器の増設	70
増設前の確認	70
内蔵3.5インチベイ	72
5インチベイ	76

システム設定 83

購入時の設定に戻すには	84
購入時の設定に戻す方法	84
パスワードの解除	85
パスワードを忘れた場合の手順	85

アプリケーションご利用時のご注意 87

知っておきたい便利な機能とアプリケーション	88
コンピュータウイルスに備える (VirusScan)	89
概要	89
CyberTrio-NX	91
概要	91
各モード間の移行方法	92
パスワードの設定方法	93
ベーシックモードの利用時の注意	94
キッズモードの利用時の注意	95
CyberWarner-NX	96
概要	96
CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法	96
CyberWarner-NXを終了する方法	97

ログファイルの表示	97
ログ対象ファイルの説明	98
NEC Soft MPEG1.0	100
概要	100
PCポータル	101
概要	101
プレーヤ-NXご利用時のご注意	103
Easy CD Creator	104
概要	104
Easy CD Creator使用時の注意	104
DirectCD	106
概要	106
DirectCDを利用するときのご注意	106
DirectCDを利用する	107
DirectCDのCD-Rメディアを他のパソコンで見られるようにする	107

再セットアップするには 109

再セットアップについて	110
再セットアップが必要になるとき	110
再セットアップする前の注意	111
再セットアップの準備	112
標準再セットアップとカスタム再セットアップ	114
購入時と同じ状態にするー標準再セットアップ	115
標準再セットアップの手順	115
全領域を1パーティションにして再セットアップする	
ーカスタム再セットアップ	128
「全領域を1パーティションにして再セットアップする」の手順	128
Cドライブのみ再セットアップするーカスタム再セットアップ	131
「Cドライブのみ再セットアップする」の手順	131
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする	
ーカスタム再セットアップ	134
ユーザ設定の手順	134
再セットアップ前に知っておきたいこと	135

トラブル解決Q&A 155

トラブル解決4つのポイント	156
トラブル予防4つのポイント	157
ハードディスクの空き容量を十分に確保する	157
定期的にハードディスクを点検する	157
日ごろから大切なデータをバックアップする	158
コンピュータウイルスの侵入を防ぐ	158
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)	159
トラブルを予防するには…	161
はじめて電源を入れたら…	163
電源を入れたが…	164
電源を切ろうとしたが…	173
スタンバイ機能を使おうとしたら…	175
パソコンがこわれそう…	177
画面がおかしい…	179
マウスを動かしても…	180
文字を入力しようとしたら…	181
周辺機器を取り付けようとしたら…	182
アプリケーションを使っていたら…	187
その他	188
アフターケアについて	191

付 録 195

機能一覧	196
仕様一覧	196
割り込みレベルとDMAチャネル	200
割り込みレベル一覧	200
DMAチャネルの割り当て	200
本機のお手入れ	201
マウスのクリーニング	202
索引	204

本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明します。

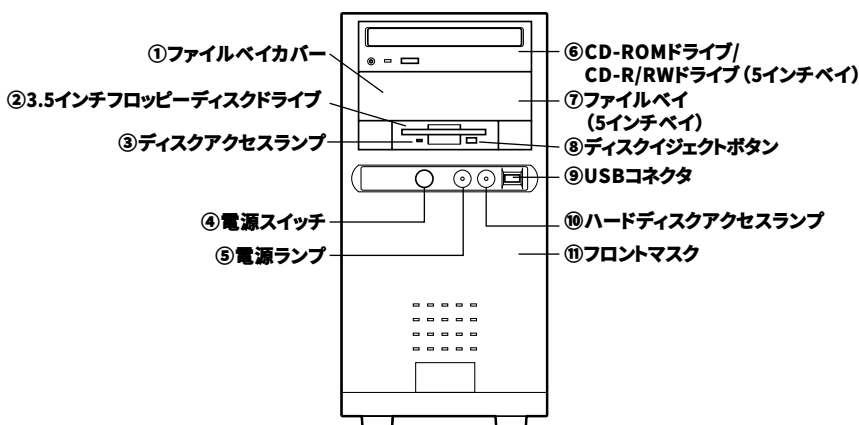
この章の内容

各部の名称	2
電源	9
キーボード	18
マウス	25
ディスプレイ	26
ハードディスクドライブ	29
フロッピーディスクドライブ	33
CD-ROMドライブ	35
CD-R/RWドライブ	37
サウンド機能	39
FAXモデムボード	41
ヘルプの表示方法	46
NECマニュアル(電子マニュアル)	47

各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページをご覧ください。

本体正面



① ファイルベイカバー

ファイルベイにリムーバブルメディア等のファイルベイ用内蔵機器を取り付けるときは、このファイルベイカバーを取り外します。

② 3.5インチフロッピーディスクドライブ

3.5インチのフロッピー ディスクの読み書きをする装置です。
→「フロッピー ディスクドライブ」(P.33)

③ ディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブが動作しているときに点灯します。

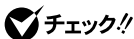


チェック!

ディスクアクセスランプ点灯中は電源スイッチを押したり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。ディスクの内容がこわれることがあります。

④電源スイッチ(⏻)

本体の電源を入れたり、スタンバイ状態にするスイッチです。



- ・電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切られてしまいます。「電源」(P.9)をご覧ください、正しい方法で操作してください。
- ・電源を入れたり、スタンバイ状態にする操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔を空けてください。→「電源」(P.9)

⑤電源ランプ(💡)

電源の状態を表示するランプです。電源が入ると点灯します。また、本機の作業を一時中断する際に、電力消費の少ないスタンバイ状態に切り替えるとオレンジ色に点灯します。

⑥CD-ROMドライブまたは、CD-R/RWドライブ(5インチベイ)

■CD-ROMドライブ搭載モデルの場合

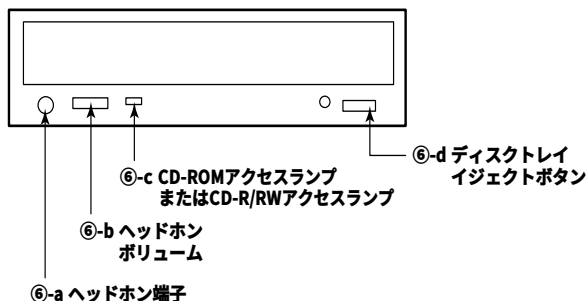
CD-ROMドライブは、CD-ROMや音楽CDのデータを読み出す装置です。
→「CD-ROMドライブ」(P.35)

■CD-R/RWドライブ搭載モデルの場合

CD-R/RWドライブは、CD-RまたはCD-RWに大量のデータを書き込むことができる装置です。また本機に標準で内蔵されているCD-R/RWドライブは、CD-ROMや音楽CDのデータを読み出すことができます。
→「CD-R/RWドライブ」(P.37)

CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器に交換することができます。→「PART2 周辺機器を利用する」の「ファイルベイ用内蔵機器の増設」(P.70)

CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ



⑥-a ヘッドホン端子()

ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。この端子で聞くことができるのは、音楽CDの再生音だけです。

⑥-b ヘッドホンボリューム

CD用ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

⑥-c CD-ROMアクセスランプまたはCD-R/RWアクセスランプ

CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが動作しているときに点灯します。

 **チェック!!** 点灯中は電源スイッチを押したり、ディスクトレイジェクトボタンを押したりしないでください。CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブの故障の原因となります。

⑥-d ディスクトレイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

⑦ ファイルベイ(5インチベイ)

ファイルベイ用内蔵機器を取り付けます。ファイルベイにはサイズの違いにより、3.5インチベイ、5インチベイの2種類があります。

 **参照** 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについては、「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

⑧ ディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクを取り出すときに使います。

⑨ USBコネクタ()

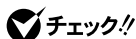
USB機器を接続します。

 **チェック!!** 本機では下記のUSB接続キーボードは使用できません。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| • PK-KB001 | • PK-KB011 | • PK-KB021 |
| • PK-KB002 | • PK-KB013 | • PK-KB022 |
| • PK-KB008 | • PK-KB015 | • PK-KB023 |
| • PK-KB010 | • PK-KB017 | |

⑩ ハードディスクアクセスランプ()

ハードディスクドライブが動作しているときに点灯します。
→「ハードディスクドライブ」(P.29)



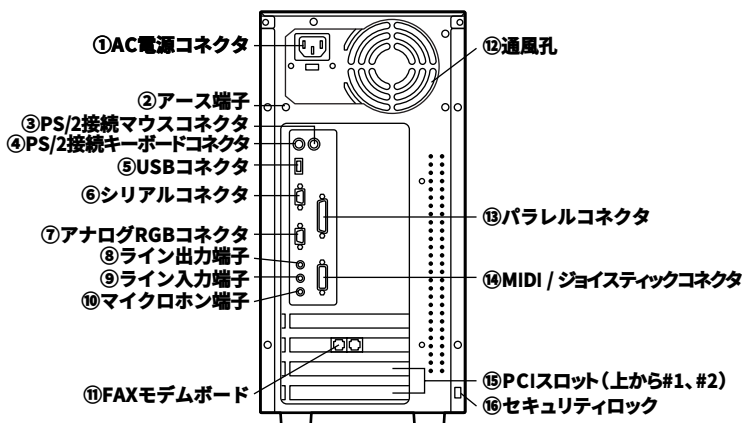
チェック!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容がこわれることがあります。

⑪ フロントマスク

本体前面のカバーです。

本体背面



① AC電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。添付の電源ケーブルを接続します。

② アース端子(⊖)

アース線を接続します。

③ PS/2接続マウスコネクタ()

添付のマウス(ミニDIN6ピン)を接続します。→「マウス」(P.25)

④PS/2接続キーボードコネクタ(⌘)

添付のPS/2 109キーボード(ミニDIN6ピン)を接続します。
→「キーボード」(P.18)

⑤USBコネクタ(⌘)

USB機器を接続します。



チェック!!

本機では下記のUSB接続キーボードは使用できません。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| • PK-KB001 | • PK-KB011 | • PK-KB021 |
| • PK-KB002 | • PK-KB013 | • PK-KB022 |
| • PK-KB008 | • PK-KB015 | • PK-KB023 |
| • PK-KB010 | • PK-KB017 | |

⑥シリアルコネクタ(⌘)

モデムやISDN TAなどの機器を接続します。



チェック!!

- PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。
- 周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。また、隣り合ったコネクタに同時に変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合い、接続できない場合があります。

⑦アナログRGBコネクタ(⌘)

アナログインタフェースのディスプレイを接続します。
→「ディスプレイ」(P.26)

⑧ライン出力端子(ミニジャック)(⌘)

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

⑨ライン入力端子(ミニジャック)(⌘)

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

⑩マイクロホン端子(ミニジャック)(⌘)

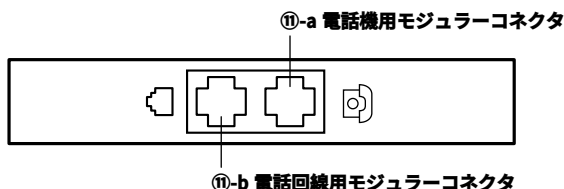
市販のマイクロホンを接続します。

⑪FAXモデムボード

FAXモデムボードが内蔵されています。

電話回線に接続することで、インターネットを利用したり、FAXの送受信などを行うことができます。→「FAXモデムボード」(P.41)

FAXモデムボード拡大図



⑪-a 電話機用モジュラーコネクタ (☎)

電話機を接続します。

⑪-b 電話回線用モジュラーコネクタ (☎)

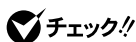
電話回線を接続します。

⑫通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。内部には電源ファンが内蔵されています。壁などでふさがないように注意してください。

⑬パラレルコネクタ (🖨)

プリンタなどの機器を接続します。



- ・PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
- ・パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

⑭MIDI/ジョイスティックコネクタ

MIDI楽器やジョイスティックなどの機器を接続します。このコネクタにはディスプレイは接続しないでください。

⑮PCIスロット

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入するスロットです。上から#1、#2と数えます。



本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについては、「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

⑩セキュリティロック (K)

盗難防止用のワイヤーやチェーン、錠を取り付けます。

筐体ロックを使用することで、本体カバーをロックし、本体のハードウェア構成の変更や内蔵機器の盗難防止、パスワードの解除防止に役立てることができます。また、市販のロック付き盗難防止ケーブルを使用することで、本体の開閉や盗難防止にも役立てることができます。

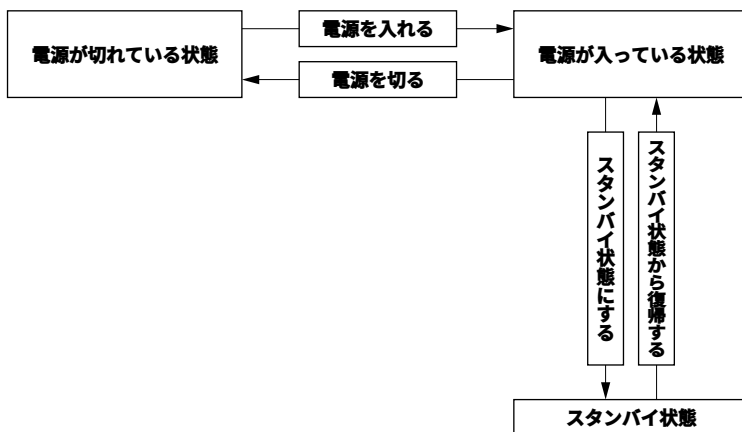
電源

ここでは電源の入れ方と切り方や、電力を節約するスタンバイ機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」「電源が入っている状態」「スタンバイ状態」の3つの状態があります。



● 電源が切れている状態

Windowsを終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

● 電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

●スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブのモータを停止するなどして消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されているため、スタンバイ状態から復帰させるときは素早く元の状態に戻すことができます。

電源の状態により、ランプとセットモデル用ディスプレイ(DV15A3、DV17D2)の表示は、次のようになります。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
入っている	緑色に点灯する	表示される	緑色に点灯する
切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯する※
スタンバイ	オレンジ色に点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯する※

※使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

◆用語 スタンバイ状態からの復帰

手動/自動操作によってスタンバイ状態にした本体をスタンバイにする前の状態に復帰することをいいます。Windows 98を起動し直す必要がないので、素早く作業を再開できます。



本機の電源を節約する機能を使う電源管理のモードは、APMモードです。ACPIモードは使用できません。

◆用語 APMモード

APM(Advanced Power Management)を使って電源の管理を行うモードです。APMとは、パソコンや周辺機器の電源の管理をBIOSやデバイスドライバなどのソフトウェアで行うためのしくみです。

◆用語 ACPIモード

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って電源の管理を行うモードです。ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源の管理をOSで行うためのしくみです。

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。

●電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す

●電源を切る

電源の操作方法
Windowsの終了メニューから「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリック

●スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windowsの終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリック
「コントロールパネル」→「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定する

●スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
FAXモデムによるリング機能を利用する
電源スイッチを押す



チェック!!

- ・購入時の状態では、マウスやキーボードからの入力がない状態が約20分間続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。スタンバイ状態から復帰させるには、マウスを動かすか、キーボードのキーを押してください。設定を変更するには、Windows 98のヘルプをご覧ください。
- ・モデムを使用して通信中のときにスタンバイ状態になることがあります。この場合、通話は自動では切れません。電話料金が加算されることがありますのでご注意ください。
- ・電源が入っている状態のときやスタンバイ状態のときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。
- ・ご購入時の状態では電源スイッチを押してもスタンバイ状態になりません。設定はコントロールパネルの「電源の管理」の「詳細」タブで変更します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認する

2 ステレオスピーカ、ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる

 **チェック!!** 一部の周辺機器では、本体より先に電源を入れないと正しく認識されないことがあります。

3 本体の電源スイッチを押す

 **チェック!!** メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

電源を切る



チェック!!

電源投入後、Windows 98の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。

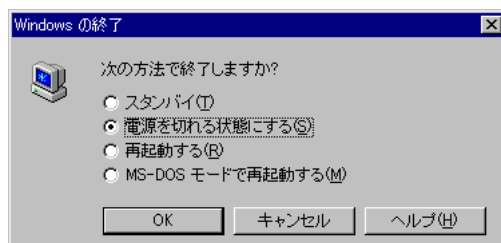
1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック



※お使いの機種により一部表示が異なります。

3 「電源を切れる状態にする」をクリック



4 「OK」ボタンをクリック

本体の電源は自動的に切れます。電源スイッチを押さないでください。

5 本体の電源が切れたことを確認したら、ステレオスピーカ、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る



ソフトウェアのエラーなどで、Windows 98の操作ができなくなってしまった場合は、まず【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してアプリケーションの強制終了ができるかどうかを試してください。この方法でアプリケーションを強制終了できない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けることによって、強制的に電源を切ることができます。

なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直してWindows 98を起動させ、再度正常な方法で電源を切ってください。

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによって電力の消費を節約することができます。

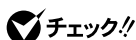
スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の手順があります。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック
電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰するには、次の手順があります。



チェック!

スタンバイ状態から、元の状態に復帰するときは、本機に負担がかかることを避けるため、電源ランプがオレンジ色に点灯してから少なくとも5秒以上待つから操作してください。

1 マウスを動かすか、キーボードのキーを押す

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、スタンバイ状態にするとときに保存された作業中のデータが失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

● スタンバイ機能が使用できないとき

- ・使用するアプリケーションによっては、スタンバイ状態からの復帰ができなかったり、アプリケーションが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、スタンバイ機能を使用しないでください。
- ・使用する周辺機器によっては、スタンバイ状態からの復帰ができないことがあります。
- ・システム変更作業(ドライバの設定や、プリンタの追加など)の途中でスタンバイ状態になった場合には、スタンバイ状態から復帰しても正常に動作しないことがあります。デバイスマネージャ表示中やハードウェアウィザード実行中などのシステム変更の途中でスタンバイ状態にならないようご注意ください。

- ・FAXモデムを使って通信中のときは、スタンバイ機能が使用できない場合があります。この場合は、通信ソフトを終了してからスタンバイ状態にしてください。

●スタンバイ内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きますと、スタンバイ状態にするときに保存された作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
 - ・停電が起きたとき
 - ・電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき
- このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした…」と表示されますので、画面の指示に従ってください。

●スタンバイ状態からの復帰が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態にするときに保存された作業中のデータは保証されません。

- ・スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、またはスタンバイ状態からの復帰中にフロッピーディスク、CD-ROMなどを取り出したり、交換したとき
- ・スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、またはスタンバイ状態からの復帰中にPCカードの抜き差しをするなど、本機の環境を変更したとき
- ・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にするときに保存された作業中のデータは保証されません。

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROMなどを読み書き中のとき
- ・スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- ・スタンバイ機能に対応していない周辺機器を使用中のとき
- ・通信用アプリケーションを実行中のとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・本機にNEC製キーボード以外のキーボードを接続しているとき

●スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されない場合

次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ内容を復元できない
- ・マウスを動かすか、キーボードのキーを押してもスタンバイ状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機能は使わないでください。万一、復帰できなかったときには、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

●その他の注意

- ・Windows 98起動時、「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」というメッセージが表示された場合は、「いいえ」を選択してください。
- ・通信ソフトを使用中の場合は、必ず通信を終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- ・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・スタンバイ状態にしても電源ファンの回転は止まりません。

●自動的にスタンバイ状態にならないように設定する

このパソコンはご購入時には20分間キーボードやマウスから入力がないと自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。アプリケーションや周辺機器によっては自動的にスタンバイ状態にならないように設定が必要な場合があります。そのときは、次の方法で自動的にスタンバイ状態にならないように設定してください。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックして「コントロールパネル」を開く
- ②「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
「電源の管理プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ③「電源設定」タブの「システムスタンバイ」で「なし」を設定する
- ④「OK」ボタンをクリックする

キーボード

ここでは、キーボードを使った文字入力や、キーボードの設定、調整の方法を説明します。キーボードの設定については、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「キーボード」で行ってください。

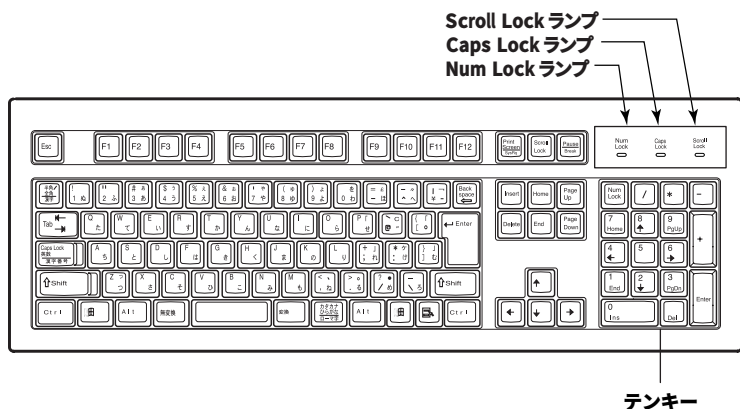
参照

Windowsのヘルプ

キーの名称と使い方

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、プログラムの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムによって異なります。



Esc : エスケープキー

F1 ~ F12 : ファンクションキー

Print Screen SysRq : プリントスクリーンキー

Scroll Lock : スクロールロックキー
→「キーをロックする」(P.20)

Pause Break : ポーズ/ブレイクキー

半角/全角/漢字 : 半角/全角/漢字キー

Tab : タブキー

Caps Lock 英数 : キャプスロック/英数キー
→「キーをロックする」(P.20)

⇧ Shift : シフトキー

Ctrl : コントロールキー

Windows キー : Windowsキー

→「Windowsキー」(P.21)

アプリケーション キー : アプリケーション キー

→「アプリケーションキー」
(P.21)

Alt : オルトキー

無変換 : 無変換キー

: スペースキー

変換 : 変換キー

カタカナ
ひらがな
ローマ字 : カタカナひらがな/ローマ字キー

Enter : エンターキー

Back
space : バックスペースキー

Insert : インサートキー

Delete : デリートキー

Home : ホームキー

End : エンドキー

Page
Up : ページアップキーPage
Down : ページダウンキー

↑ ↓ → ← : カーソル移動キー

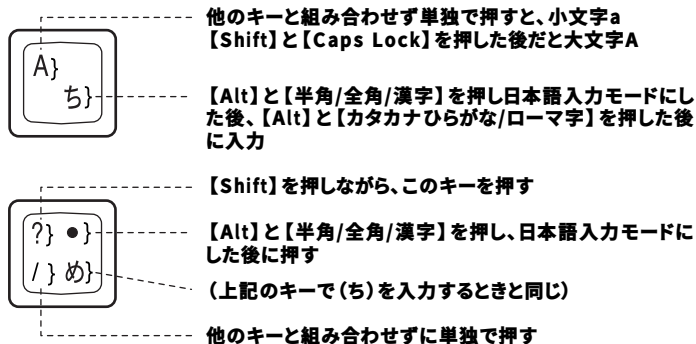
Num
Lock : ニューメリックロックキー

一度押すとニューメリック
ロックし、Num Lockランプが
点灯します。→「キーをロック
する」(P.20)

キーの使い方

1つのキーにいくつかの文字や記号が印字されているキーがあります。これらの文字や記号は、【Shift】や、日本語入力モードと組み合わせて使うことで入力することができます。これらの操作方法は、使用する日本語入力プログラムによって異なります。

(例) 【A ち】と【?/・め】のキーに割り当てられた個々の文字や記号を打ち分けるには



以上の手順は、日本語入力モードの設定がすべてデフォルト(ローマ字入力)の状態からの操作方法です。

キーをロックする

【Caps Lock】【Num Lock】【Scroll Lock】は、ロックされているときと、ロックされていないときでキーの機能が異なります。

キャプスロックさせたいときは、【Shift】を押しながら【Caps Lock】を押すことによってキーはロックし、同様の操作を行うことによってキーのロックを解除できます。

それぞれのキーがロックされているときは、キーボード上部のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	英字が大文字で入力されます。	英字が小文字で入力されます。
【Num Lock】	テンキーから数字が入力されます。	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます。
【Scroll Lock】	アプリケーションによって機能が異なります。	

アプリケーションキーとWindowsキーについて

アプリケーションキーとWindowsキーは、Windowsで利用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー()

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windowsキー()

Windowsキーだけを押すと、「スタート」メニューを表示します。
Windowsキーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する



現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する



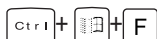
 +  でアイコン化しているウィンドウを元に戻す



Windowsのヘルプを起動する



ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する



コンピュータを検索するウィンドウを表示する



タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを使います。本機では各モデルごとに以下の日本語入力プログラムが使用できます。

日本語入力プログラム	Office 2000モデル	ジャストホームモデル
MS-IME2000	○	—
MS-IME98	※	△
ATOK12	—	○

○：インストールされており、購入時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム

△：インストールされている日本語入力プログラム

※：Office 2000 Personalのインストールによって、MS-IME2000に上書きされます

日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには2つの方法があります。

- ・ キーボードの【Alt】を押しながら【半角/全角/漢字】を押す
- ・ タスクバーの右下のをクリックし、表示されるメニューから選択する

日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。ここでは、MS-IME2000、MS-IME98、ATOK12での最も簡単な手順を示します。詳しくは、MS-IME2000、MS-IME98またはATOK12のヘルプをご覧ください。

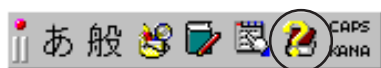
■ MS-IME2000およびMS-IME98の場合

- 1 ツールバーの一番左のアイコンをクリックして入力する文字の種類をクリック
- 2 文字を入力する(この段階では未確定の仮の状態)
- 3 【スペース】を押す(変換の結果が正しくない場合は、正しく変換されるまで繰り返す)

4 【Enter】を押す(この段階で確定し、文字が入力される)



ヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをクリックしてください。



ヘルプを見るにはここをクリック

■ ATOK12の場合

- 1 ATOK12ツールバーの一番左のアイコンをクリックして入力する文字の種類をクリック
- 2 文字を入力する(この段階では未確定の仮の状態)
- 3 【スペース】を押す(変換の結果が正しくない場合は、正しく変換されるまで繰り返す)
- 4 【Enter】を押す(この段階で確定し、文字が入力される)



ATOK12のヘルプを表示するには、ATOK12ツールバーのヘルプアイコンをクリックしてください。



①最大化ボタンをクリック



②ここをクリック

使用上の注意

Nキーロールオーバー

Nキーロールオーバーとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力したキーが有効となる機能です。ただし、本機のキーボードは疑似Nキーロールオーバーのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示されないことや有効にならないことがあります。

別売のUSB接続キーボードについて

本機では下記のUSB接続キーボードは使用できません。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| • PK-KB001 | • PK-KB011 | • PK-KB021 |
| • PK-KB002 | • PK-KB013 | • PK-KB022 |
| • PK-KB008 | • PK-KB015 | • PK-KB023 |
| • PK-KB010 | • PK-KB017 | |

マウス

ここでは、マウスを取り扱うときの注意や使用方を説明します。マウスの設定については、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「マウス」で行ってください。



参照 Windows 98のヘルプ

使用上の注意

マウスの取り扱い

マウスを使うときは、次のことに注意してください。注意を守らずに使用すると、マウスの故障の原因となります。

- ・ ほこりや消しゴムのかすなどのある場所で使わない
- ・ コードを引っかけない
- ・ コードを強く曲げたり、引っ張ったりしない
- ・ 裏面のネジを外さない、分解しない
- ・ 動きが悪くなってきたら、ボールとローラーの汚れを掃除する
→「PART7 付録」の「本機のお手入れ」(P.201)

Windows 98の設定

描画速度の速いグラフィックアクセラレータでは、「ポインタの軌跡」を「表示する」に設定しても、軌跡が表示されない場合があります。

スクロールボタンの使い方

本機に添付されるスクロールボタン付きマウスには、スクロールボタンがあります。通常はスクロールボタンを上押し続けたり、手前へ引き続けることで上下にスクロールします。また、スクロールボタンをクリックしたり、押し続けたときに $\updownarrow$ (スクロールアイコン)が表示されます。その場合は、三角マークの方向にマウスを動かすと画面を上下にスクロールさせることができます。スクロールボタンを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。



チェック!!

スクロールボタンはアプリケーションによっては使用できない場合があります。

ディスプレイ

本機には、グラフィックアクセラレータ機能が標準で搭載されています。
お使いの用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

表示できる解像度と表示色について

本機では、表示する解像度と表示色は、以下の水平走査周波数・垂直走査周波数で表示可能となります。

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15インチCRT ディスプレイ (DV15A3)	17インチCRT ディスプレイ (DV17D2)
640×480	256色	43.3	85.0	○	○
	65,536色	37.5	75.0	○	○
	1,677万色	31.5	60.0	○	○
800×600	256色	53.7	85.0	○	○
	65,536色	46.9	75.0	○	○
	1,677万色	37.9	60.0	○	○
1,024×768	256色	68.7	85.0	○	○
	65,536色	60.0	75.0	○	○
	1,677万色 ※1	48.4	60.0	○	○
1,280×1,024	256色	64.0	60.0	×	○
	65,536色 ※1				
	1,677万色 ※2				

※1 VRAMの容量が2MBのときは表示できません。

※2 VRAMの容量が8MBのときのみ表示できます。

メモ

- ・ VRAMの容量の変更については、『電子マニュアル』の「BIOS設定」「ハードウェア環境の設定」「Video Configuration Setupサブメニューの設定」の「Share Memory Size」をご覧ください。
- ・ 画面の調整が必要な場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

適合するディスプレイを使う

本機に接続するディスプレイは「表示できる解像度と表示色について」(P.26)を参考に、適合するディスプレイを使用してください。

別売のディスプレイについて

本機には別売のディスプレイも接続することができます。別売のディスプレイを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- Windows 98を使用する場合は、640×480ドット以上の解像度に対応したディスプレイを使用してください。
別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて本体の設定を変更する必要があります。
- 本体がディスプレイにあわせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。
- 別売のディスプレイを使用する場合は、解像度、走査周波数の条件を満たしていることを確認してください。
- ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。
- 次の別売のディスプレイは使用できません。

PC-KM212

PC-KM174

使用上の注意

- ・ リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定値は、セットアップが完了したときに、本体とモニタの組み合わせで最も適した値に自動的に設定されます。リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定は機種によっては「画面 プロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイがサポートしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでください。
- ・ マルチモニタ機能を利用する場合、本体内蔵のアクセラレータは、Primary固定となります。
- ・ 本体内蔵のアクセラレータを利用せず、別売のアクセラレータボードを利用する場合は、ストラップスイッチによる変更が必要です。PCIボードの取り付け方とストラップスイッチの変更方法については、「PART2 周辺機器を利用する」の「PCIボードの取り付け」と「別売のPCIグラフィックアクセラレータボードをご利用の場合」(P.69)をご覧ください。なおこの場合、BIOSセットアップメニューで設定したVRAMの容量は確保されたままになります。

参照

「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「BIOS設定」「ハードウェア環境の設定」「Video Configuration Setupサブメニューの設定」の「Share Memory Size」

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密な装置です。コンピュータの使用中にハードディスクドライブで障害が発生することもあります。軽い障害であればスキャンディスクを使って修復することができる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなどには、それぞれ呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。本機のハードディスクドライブは、購入時には第1パーティション(ドライブ番号:Cドライブ)として約16Gバイト、または約12Gバイトの領域が確保されており、残りのすべてが第2パーティション(ドライブ番号:Dドライブ)として確保されています。

購入時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ(第1パーティション) 約16Gバイト(総容量約20Gバイトの場合) 約12Gバイト(総容量約15Gバイトの場合)
Dドライブ	ハードディスクドライブ(第2パーティション) 残り容量のすべて (Dドライブはモデルによって異なります)
Qドライブ	CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ

システムツールについて

本機には、次のようなシステムツールが用意されています。
各システムツールの実行手順は、Windowsのヘルプを参照してください。

ツール名	機能
スキャンディスク	ハードディスクのファイルやフォルダにデータエラーがないかチェックして、問題があった部分を修復することができます。
デフラグ	不連続に保存されたデータを最適な場所に整理することができます。
ディスククリーンアップ	不要なファイルを簡単に削除でき、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。
システムファイルチェッカー	システムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルに関しては修復することができます。
メンテナンスウィザード	スキャンディスク、デフラグ、ディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に実行させるように、簡単な操作で設定できます。
バックアップ機能	バックアップ作業を効率的に行うことができます。例えば、ハードディスクのすべてのファイルを圧縮してハードディスクや外付けのMOなどにバックアップすることができます。また、バックアップしたファイルは自動的に元の場所に復元することもできます。

参照 ▶ 「スタート」ボタン→「ヘルプ」→「アクセサリを使う」→「システムツール」

使用上の注意

振動や衝撃を加えない

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

- ・ 電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・ 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの間は、わずかしき空いていません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を与えても故障の原因となることがあります。また、温度、湿度条件を守れない環境での使用が続いた場合は、ハードディスクドライブ内部で磁気ヘッドの姿勢を乱すといった故障の原因となることがあります。ハードディスクドライブが故障すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしまう、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおすすめします。

アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自動的に保存場所が決められている場合があるので、バックアップをとる場合は各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。パーソナルコンピュータは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windows 98の「スキャンディスク」などを実行すると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されていたことを表しており、異常ではありません。

また、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数*が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク容量	正常値
20.0Gバイト	20,000,000,000バイト以上
15.0Gバイト	15,000,000,000バイト以上

※表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

メモ

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。OSによっては、1Mバイト＝1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト＝1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも少ない値で表示されます。

メモ

本機で利用できる内蔵ハードディスクのセクタ長は、512バイトです。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本機より小さな音がする場合がありますが、異常ではありません。

フロッピーディスクドライブ

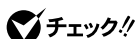
コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに書き込んで保存することができます。

使用できるフロッピーディスクについて

フロッピーディスクには2DD、2HDの2種類があります。本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディスクの種類	容量	読み書き※	フォーマット
2DD	640KB	×	×
	720KB	○	○
2HD	1.2MB	○	×
	1.44MB	○	○

※MS-DOSまたはWindowsでフォーマットされたものが使用できます。

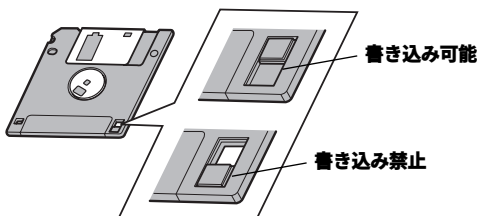


チェック!!

1.2MBのフロッピーディスクは、Windows 98の「ディスクのコピー」でバックアップがとれません。また、「ディスクのコピー」のコピー先で使用するフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください。(これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です。)

フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないようにするために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになっています。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしておく習慣をつけましょう。ライトプロテクトノッチを図のように穴の開く方にスライドさせると、書き込み禁止になります。



フロッピーディスクのフォーマット

市販のフロッピーディスクには、フォーマット済みのものと、未フォーマットのものがあります。未フォーマットのフロッピーディスクを購入した場合は、使用する前にフォーマット処理(初期化)を行う必要があります。

フォーマットの手順

- 1 フロッピーディスクをドライブにセット
- 2 Windows 98のデスクトップで「マイコンピュータ」をダブルクリック、または「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 3 「3.5インチFD」をクリック
- 4 「ファイル」→「フォーマット」を選択する
- 5 「フォーマット」の画面が表示されたら、「通常のフォーマット」を選択し「開始」ボタンをクリック
- 6 「フォーマット結果」が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック
- 7 「フォーマット」の画面で「閉じる」ボタンをクリック



チェック!!

- ・未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットする場合、ディスクのチェックに時間がかかる場合があります。フォーマット開始後にフロッピーディスクドライブのアクセスランプがつきっぱなしになった場合は、しばらくするとフォーマット処理が開始されます。
- ・マイコンピュータまたはエクスプローラで2DDのフロッピーディスクを720KBでフォーマットした場合、フロッピーディスクをドライブから一度取り出し、再度入れてからご使用ください。フォーマット後、フロッピーディスクを取り出さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していてもエラーが発生する場合があります。クイックフォーマットされたフロッピーディスクにはこの手順は必要ありません。

CD-ROMドライブ

CD-ROMはデータやプログラムが書き込まれているCDです。CD-ROMドライブ搭載モデルに標準で内蔵されているCD-ROMドライブは音楽用のCDなども再生することができます。

⚠ 警告

CD-ROM媒体は、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-ROMドライブでは、下記のCDを再生・表示することができます。

CD-TEXT対応の音楽CDは通常の音楽CDとして再生することはできますが、CD-TEXTのTEXTデータ部は読み出せません。

規 格	概 要
Photo CD マルチセッション※1	写真を最大100枚まで記録できる追記型のCD
CD-DA (CD-Digital Audio)※1	一般の音楽CD プログラム用のCD-ROMでは音楽トラックの部分のこと
CD-ROM XA※2 (CD-ROM eXtended Architecture)	CD-Iで提案されたマルチメディアシステムを、既存のパーソナルコンピュータでも実現できるようにした規格
ビデオCD※1 ※2	MPEG1という圧縮方式を用いて記録された、動画用のCD-ROM
CD Extra (CD PLUS)※1	一般の音楽CDに文字や画像などを記録できるようにした規格
CD-R (CD-Recordable)※3	書き込みができるCD。マルチセッション対応の場合は、複数回に分けての書き込みも可能
CD-RW (CD-Rewritable)※3	上書き書き込みができるようにしたCD CD-ROMドライブでは書き込みはできません。

※1 添付されているプレーヤ-NXで再生・表示できます。

※2 NEC Soft MPEG1.0をインストールする必要があります。

※3 CD-R/RWドライブ搭載モデルのみ書き込みができます。

なお書き込みには専用アプリケーションが必要です。

参照

「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」の「プレーヤ-NX」

非常時のディスクの取り出し

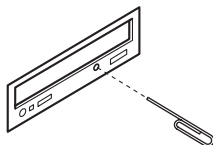
停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制的に取り出すことができます。

✓ **チェック!** 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

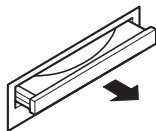
- 1 細くて丈夫な針金を用意する
大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



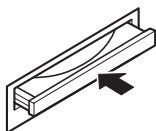
- 2 非常時ディスク取り出し穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す
ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



- 3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



- 4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む



CD-R/RWドライブ

CD-R/W (Compact Disc ReWritable) ドライブが標準で搭載されているモデルでは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないようにしてください。

⚠ 警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、CD-RW対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-R/RWドライブで再生・表示できるCDについては、「CD-ROMドライブ」「再生できるCDの種類」(P.35)の表をご覧ください。CD TEXTのTEXTデータ部は、読み出せません。

CD-RおよびCD-RWへのフォーマットおよび書き込み

本機に内蔵されているCD-R/RWドライブは、CD-ROMドライブの機能に加えて、CD-Rへの書き込み機能とCD-RWへの書き換え機能が加わったものです。

使用できるディスク

CD-RおよびCD-RWについては、ISO9660、Orange Book Part2(CD-R)およびPart3(CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。書き込みできる容量は、ライティングソフトによって異なります。詳しくは、Easy CD CreatorおよびDirectCDのヘルプをご覧ください。

使用するソフトウェア

本機のCD-R/RWドライブを使って、CD-RまたはCD-RWにフォーマット/書き込みするには、Easy CD CreatorまたはDirectCDが必要です。使用方法については「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」の「Easy CD Creator」(P.104)または「DirectCD」(P.106)をご覧ください。



チェック!!

- ・書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
- ・作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROMドライブ、CD-Rドライブ、CD-R/RWドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
- ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピーの作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所有者からのコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCDの使用許諾条件、複製に関する注意事項に従ってください。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制的に取り出すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」「非常時のディスクの取り出し」(P.36)をご覧ください。



チェック!!

本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

サウンド機能

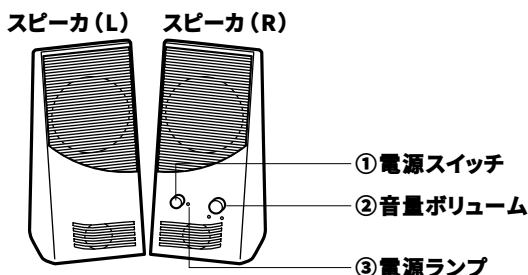
本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。音声を本機に接続した外付けスピーカまたは外部のオーディオ機器から再生することができます。

スピーカ

本機に添付されている外付けスピーカを接続することで、音声を再生することができます。

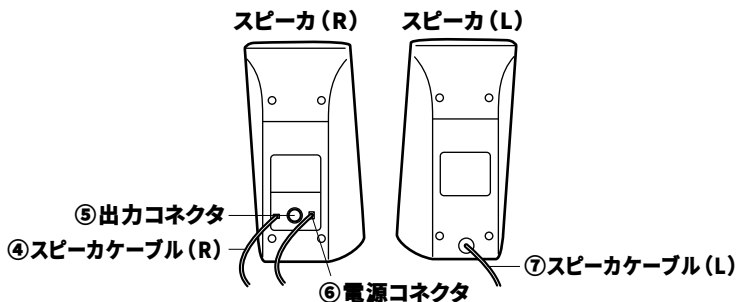
外付けスピーカの各部の名称

前面



電源スイッチやボリュームが付いている方がスピーカ(R)です。

背面



① 電源スイッチ (①)

スピーカの電源を入れたり切ったりするスイッチです。1回押すと電源が入り、もう1回押すと電源が切れます。

② 音量ボリューム(🔊)

スピーカの音量を調整します。右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

③ 電源ランプ

スピーカの電源が入っているときは緑色に点灯します。

④ スピーカケーブル(R)

本体とスピーカを接続するためのケーブルです。

⑤ 出力コネクタ(🔌)

左右のスピーカを接続するためのコネクタです。

⑥ 電源コネクタ

添付のACアダプタを接続するためのコネクタです。

⑦ スピーカケーブル(L)

左右のスピーカを接続するためのケーブルです。スピーカ(R)の出力コネクタ(🔌)に接続します。

FAXモデムボード

本機に標準で内蔵されているFAXモデムボードでは、FAX通信機能、データ通信機能などを利用できます。また市販の電話機を接続するためのコネクタがついています。

参照

ATコマンドについては、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「ATコマンド」

FAXモデムボードについて

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にインストール/添付されているデータ通信ソフトウェアを使用することにより、パソコン通信などのデータ通信を行うことができます。その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAX通信機能

本機のデータをダイレクトにFAXに送信できます。
また、本機でFAXを受信でき、効率的にFAX送受信をサポートします(FAX送受信用のソフトウェアを用意する必要があります)。

最高56,000bpsまでの各種通信

FAXモデムは、米国CONEXANT SYSTEMS社等提唱のK56flex、およびV.90を採用しています。K56flex、およびV.90では、受信時最高56,000bps、送信時最高33,600bpsのデータ通信が可能です。電話回線を利用して、最高56,000bpsの全二重データ通信と最高14,400bpsの半二重FAX通信ができます。

FAXモデムボードを使用するときの注意

- ✓ **チェック!!** 標準で取り付けられているFAXモデムボードは、購入時に取り付けられているスロットで使用してください。

適用電話回線について

回線は、電話回線(以降、加入電話回線と呼びます)、総合デジタル通信網(ISDN)、ファクシミリ通信網、専用回線に区別することができます。FAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設計され、技術基準適合認定を受けています。→「技術基準等適合認定について」(P.iv)

加入電話回線以外と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体等を破損する場合があります。

- ・ コードレスホンや親子電話、構内回線など、加入電話回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- ・ FAXモデムボードは、ファクシミリ通信網には対応していません。
- ・ FAXモデムボードに接続できる回線は2線式のみです。

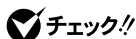
送信レベルについての注意

加入電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

ポート番号を変更する

購入時の状態では、内蔵FAXモデムボードのポート番号はCOM1になっています。ポート番号を変更するときは次の手順で変更してください。



「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、「アドバンスモード」(「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go to アドバンスモード」をクリック)に変更してから次の手順を行ってください。

- 1 起動している通信アプリケーションをすべて終了する
- 2 「コントロールパネル」を開く
(「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」)
- 3 「システム」をダブルクリック
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリック
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。
- 5 「モデム」をダブルクリックし、表示された「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJPA)」をクリック(反転表示)
- 6 「プロパティ」をクリック
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJPA)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 7 「リソース」タブをクリック
- 8 「自動設定を使う」のチェックボックスのチェックを外す
- 9 「基にする設定」の値を変更し、「リソースの種類」にある「I/O範囲」の値を設定する
COM1の場合：03F8-03FF
COM2の場合：02F8-02FF
COM3の場合：03E8-03EF
COM4の場合：02E8-02EF
リソースが競合していないことを確認してください。競合している場合、そのポートへの変更はできません。

- 10 「OK」ボタンをクリック**
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJPA)のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 11 「OK」ボタンをクリック**
「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されます。
- 12 「はい」ボタンをクリック**
しばらくすると、「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 13 「閉じる」ボタンをクリック**
- 14 Windowsを再起動する**
コンピュータの再起動が始まります。

以上で、ポート番号の変更は終了です。

通信するときの注意

- 通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した電話機の受話器を外さないようにしてください。受話器が外れると、受話器から通信中の音が聞こえ通信が中断されることがあります。
- キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号にあわせた調整が必要です(「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」の「ATコマンド」をご覧ください)。加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは電話装置メーカーや保守業者、第1種通信事業者(NTTなど)に確認してください。
- 本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。
- 電話機用モジュラーコネクタには他のモデムを接続しないでください。他の外付けモデムなどが電話機用モジュラーコネクタに接続されている場合は、取り外してください。

- FAXモデムボードに接続できる電話機などは2線式の回線用のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。また、接続する電話機などによっては、FAXモデムボードが正常に通信できない場合がありますので、正常に通信できない場合は、次のいずれかの方法で正常に通信できるようになります。
 - 接続する電話機などにアース接続用の端子がある場合は、アース線をつなぐ。
 - 電話機などに別の電話を接続するためのコネクタがある場合は、接続の順番を変える(加入電話回線—電話機—パソコン のようにする)。

接続については、電話機などのマニュアルをご確認ください。
 - モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。
- FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに電話機などを接続している場合や、市販の分岐コネクタを使用して電話機などとパソコンとを加入電話回線に接続している場合は、モデムによる通信の際に電話機などを使用していないことを確認してください。また、モデムで通信中は電話機などを操作しないようにしてください。電話機などを操作すると、通信が妨害され、切断されることがあります。
- 電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機をパソコン本体から離れたところに設置している場合は、送信/受信の際に外付け電話機が使用されていないことを確認してください。
- データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア(RTS/CTS)(購入時の設定)に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。
- FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。この場合は、外付け電話機で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。
- 電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsでFAXの通信ができないことがあります。この場合は通信速度を9,600bps以下にしてください。
- 海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。
- K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56,000bpsは、理論値であり、加入電話回線での通信速度とは異なります。
- 回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があります。

ヘルプの表示方法

ここではヘルプの表示方法について説明します。Windows 98のヘルプの詳細は『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』「第1章 はじめに」の「情報の探し方」をご覧ください。

特定の操作手順についてのヘルプ

目次またはキーワードを入力して操作手順を探す

- 1 「スタート」ボタン→「ヘルプ」をクリック
- 2 ヘルプウィンドウ内の  または  をクリック

 をクリックすると、さらに細かな項目が表示されます。

 をクリックすると、項目の内容を説明する画面が表示されます。

設定項目のヘルプ(画面に表示されている項目についてのヘルプ)

設定方法がわからない場合に、ヘルプ画面を表示してその項目の説明を読むことができます。

設定項目に関する説明を表示する

- 1 ダイアログボックスのタイトルバーにある  アイコンをクリック
カーソルが  になります。

- 2 説明が必要な項目をクリック

 **メモ**

説明が必要な項目を選択して【F1】を押しても同様の画面が表示されます。

NECマニュアル(電子マニュアル)

本機には、「NECマニュアル」という電子マニュアルがインストールされています。目的にあわせてご覧ください。

NECマニュアルの概要

- ・ **トラブル解決Q&A**
トラブルの解決方法について説明しています。「PART6 トラブル解決Q&A」とあわせてお読みください。
- ・ **アプリケーションの追加と削除**
アプリケーションの追加と削除の方法について説明しています。
- ・ **BIOS設定**
BIOSセットアップユーティリティの使用方法について説明しています。
- ・ **ATコマンド**
ATコマンドの使用方法和コマンドの一覧が収録されています。
- ・ **追加情報**
このパソコンについての追加情報、補足情報が記載されています。

NECマニュアルの起動方法

スタートメニューにそれぞれ次のように登録されています。

- ・ **トラブル解決Q&A**
「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「トラブル解決Q&A」
- ・ **アプリケーションの追加と削除**
「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」
- ・ **BIOS設定**
「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「BIOS設定」
- ・ **ATコマンド**
「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「ATコマンド」
- ・ **追加情報**
「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「追加情報」

2

周辺機器を利用する

ここでは、本機に接続できる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

この章の内容

接続にともなう注意点	50
接続できる周辺機器	55
本体カバー類の取り外し	57
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	61
PCIボードの取り付け	66
ファイルベイ用内蔵機器の増設	70



接続にともなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

● 取り付けたい周辺機器は、本機で使えるものですか？

取り付けたい周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、NEC製の周辺機器で接続可否の確認がとれているものについては、次のWebサイトで紹介しています。

「PICROBO」

<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

● リソースは確保されていますか？

周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。「デバイスマネージャ」で、その周辺機器で使用されるリソースがあいているかどうか確認してください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリソースを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるよう設定を変更します。

プラグ&プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ（デバイスのためのソフトウェア）のセットアップが必要なものがあります。

プラグ&プレイとは、取り付けたハードウェアを自動的に検出してセットアップを行うWindows 98の機能です。

新しいハードウェアを取り付けると、次に電源を入れたときにWindows 98によって自動的に新たなハードウェアが検出され、必要に応じてデバイスドライバウィザードが起動されます。外付けの周辺機器を接続した場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセットアップを行ってください。

デバイスドライバの追加について

- ・ 周辺機器によっては、デバイスドライバのセットアップが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧ください、必要なデバイスドライバを組み込んでください。
- ・ デバイスドライバを組み込んだ後、本機の再起動を求められることがあります。その際には他の操作をせずに直ちにWindowsを再起動してください。
- ・ デバイスドライバを組み込んだ後の再起動の際には、通常よりも時間がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないでください。

接続時に注意すること

⚠ 注 意



感電注意

- ・ 雷が鳴り出したら、本機や電源ケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしったりしないでください。
落雷による感電のおそれがあります。
- ・ 濡れた手で触らないでください。
電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときに、濡れた手で本体に触ると、感電の原因になります。
- ・ 電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときは、本体のカバー類を取り外さないでください。
感電の原因になります。
- ・ 周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに取り付けられたまま周辺機器の取り付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障、場合によっては感電の原因となります。



けが注意

- ・ 本体内部に手を入れるときは、指をはさんだりぶつかけたりしないように注意してください。

⚠ 注 意



高温注意

- ・本機の使用直後は、CPUやCPUの周辺に触れないでください。CPUが高温になっていますので、手を触れるとやけどをすることがあります。本体のカバーを外す場合は、電源を切った後、30分以上たってから行うことをおすすめします。



感電注意

- ・本体を、カバーを外した状態で使用しないでください。感電や火災の原因となります。



発火注意

- ・周辺機器は、この『活用ガイド』や周辺機器のマニュアルに従って正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと、発煙や火災の原因となります。



発火注意

接続がうまくできない場合

● ケーブルは正しく接続されていますか？

見落としがちなことですが、本機や周辺機器を動かしたときなどに、ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと接続されているか、確認してください。また、本体内部に機器を取り付けたときには、気付かないうちに内部の信号ケーブルなどを引っぱってしまっ、て、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル類がきちんと取り付けられているかどうか、確認してください。

● デバイスドライバは組み込みましたか？ 最新のものですか？

周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧ください。デバイスドライバを組み込んでください。また、周辺機器のデバイスドライバは、知らないうちに改善されて新しくなっていることもあります。「デバイスドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かない」といった場合は、デバイスドライバを最新のものにするとうまく動くようになります。周辺機器の製造元に問い合わせ、最新のデバイスドライバを入手してください。なお、NEC製の最新ドライバはPICROBO(<http://www.nec.co.jp/picrobo/>)で提供しています。

● Readmeファイルを読みましたか？

アプリケーションに付いているReadmeファイルには、マニュアルやヘルプに掲載されていない重要な情報が掲載されていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いてお読みください。本機には、「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」に本製品のご利用にあたっての補足説明が掲載されています。

● 周辺機器を複数取り付けただけ、何が原因かわからなくなっていますか？

このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、1つずつ取り付けては本機を起動するという作業を繰り返します。本機が起動できなくなるなどの現象を発生させる機器があったら、その機器に問題があります。リソースの設定やデバイスドライバの設定などが正しくできているか、確認してください。

● トラブルが起きていませんか？

「PART6 トラブル解決Q&A」の目次からあてはまりそうなトラブルを探してください。あてはまる項目が見つからない場合は、「トラブルを解決するには(ヒント)」をご覧ください。

また、このパソコンに登録されている『NECマニュアル』の「トラブル解決Q&A」を調べてみてください。

リソースの競合が起こったら

PCIボードは、プラグ&プレイに対応しているため基本的には設定不要ですが、本機が作動しない場合は、リソースの競合が起こっているかもしれませんのでここをお読みください。

最もリソースの競合が起きやすいのは、本機に新しい機器が追加された場合です。新しい機器が検知されたときにシステムの状態が調べられます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースの競合が起きないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合は、リソースの競合が起こるとドライバを組み込めなくなります。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働くように設定されているからです。リソースの競合が起こっているかどうかは、「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」タブで確認することができます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに黄色い「！」マークや赤い「×」マークが表示されます。



チェック！

USB接続のキーボードをご使用の場合は、PS/2互換マウスポートに黄色い「！」が表示されますが、異常ではありません。

異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。
「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリ
ソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

- 1 「リソース」タブを開く
- 2 「自動設定を行う」のチェックを外す
- 3 「リソースの種類」から競合しているリソースを選択し、ダブル
クリック
- 4 表示されたリソースの設定値を変更する



チェック!!

選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があ
ります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してく
ださい。なお、本機のリソースについては、「PART7 付録」の「割り込みレベ
ルとDMAチャネル」をご覧ください。

接続できる周辺機器

この本体には、次のような別売の周辺機器を接続できます。

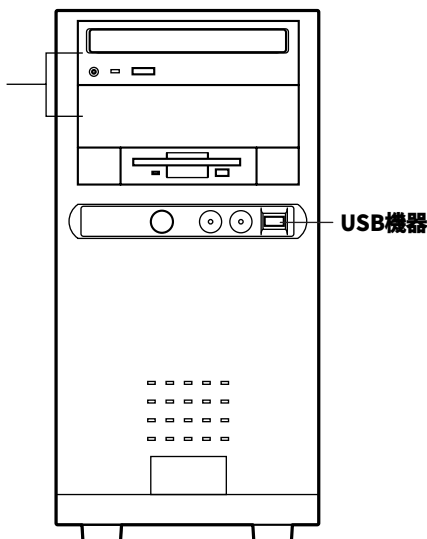


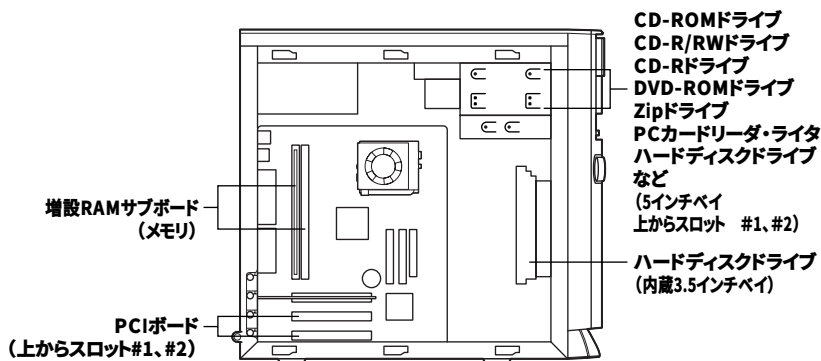
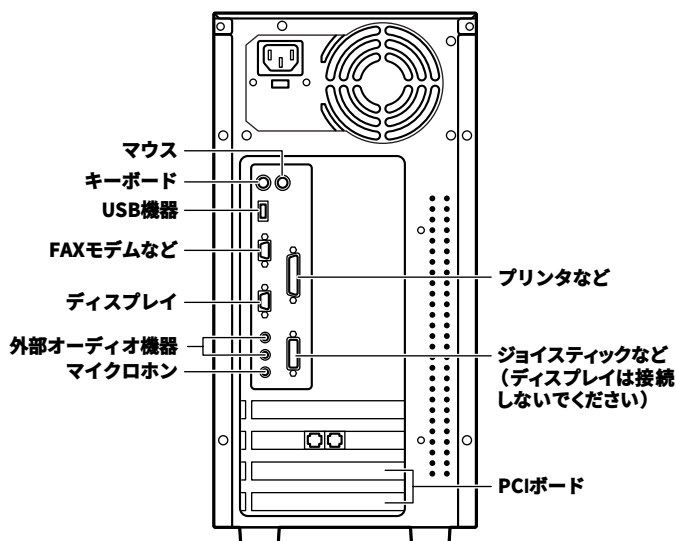
チェック!!

本機では下記のUSB接続キーボードは使用できません。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| • PK-KB001 | • PK-KB011 | • PK-KB021 |
| • PK-KB002 | • PK-KB013 | • PK-KB022 |
| • PK-KB008 | • PK-KB015 | • PK-KB023 |
| • PK-KB010 | • PK-KB017 | |

CD-ROMドライブ
CD-R/RWドライブ
CD-Rドライブ
DVD-ROMドライブ
Zipドライブ
PCカードリーダー・ライター
ハードディスクドライブ
など
(5インチベイ
上からスロット#1、#2)





※ 隣り合ったコネクタに同時に別売の変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合い、接続できない場合があります。

本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を増設するときなどに必要なカバー類の取り外し方について説明します。

⚠ 注意

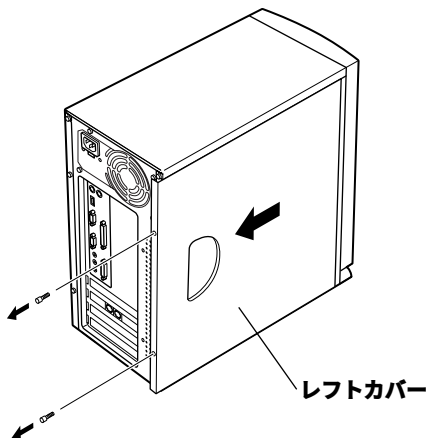


周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま周辺機器の取り付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障や、場合によっては感電の原因となります。

レフトカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する場合は、本体のレフトカバーを取り外す必要があります。

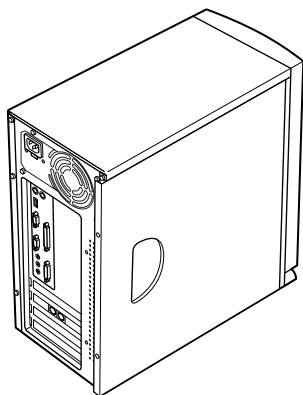
- 1 本機の電源を切る
- 2 本体に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す
- 3 盗難防止用の錠を使用している場合は取り外す
- 4 本体背面のネジ2本を外し、レフトカバーを後方へ引いて取り外す



レフトカバーの取り付け

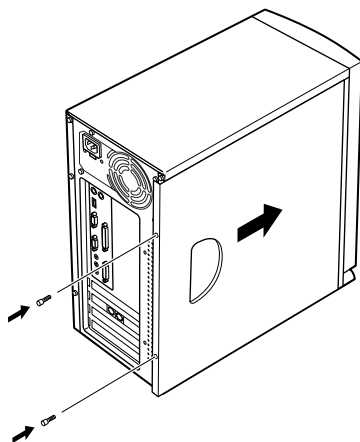
レフトカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けやすくなっています。

- 1 レフトカバーをフロントマスクから少し開くように載せる
レフトカバー裏側のツメと本体の穴をあわせませす。



- 2 レフトカバーを本体に押し当て、矢印方向にスライドさせる

- 3 「レフトカバーの取り外し」で取り外したネジ2本でレフトカバーを固定する



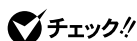
4 盗難防止用の錠を利用している場合は、錠を取り付ける

5 ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体に接続する

フロントマスクの取り外し

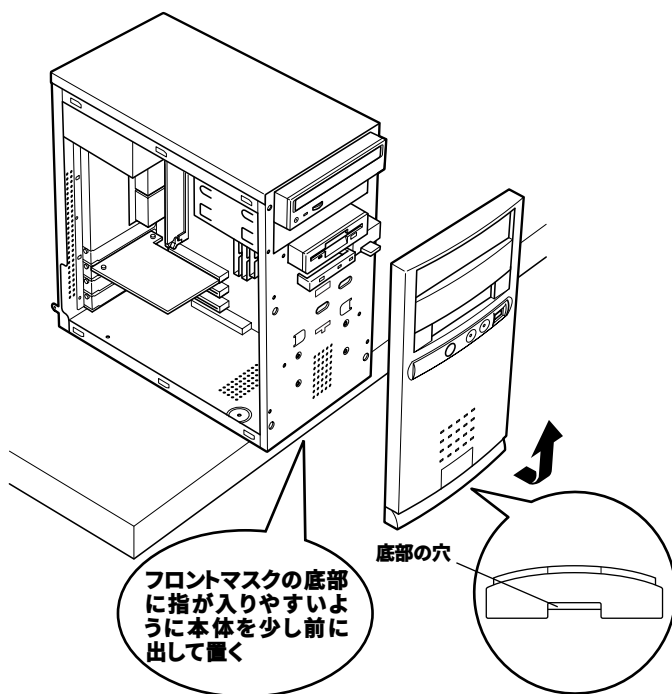
増設ハードディスクドライブやPCカードドライブなど、ファイルベイ(5インチベイ、3.5インチベイ)に内蔵機器を取り付ける場合は、レフトカバーとフロントマスクを取り外す必要があります。

1 フロントマスク底部の穴に指を入れて、フロントマスクを手前に引いてから上に持ち上げて取り外す



チェック!!

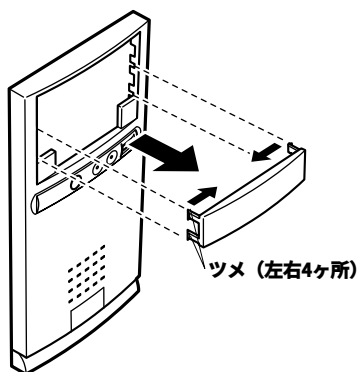
フロントマスクを取り外しやすいように、机の端などに寄せて、フロントマスクを取り外してください。



ファイルベイカバーの取り外し

PCカードドライブなどのリムーバブルメディア用の内蔵機器をファイルベイ(5インチベイ)に取り付ける場合は、ファイルベイカバーを取り外す必要があります。

- 1 ツメ(4ヶ所)を矢印の方向に押してロックを外す
- 2 ファイルベイカバーを内側から外側に押して取り外す



増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

本機のメモリは、最大256MBまで増設することができます。大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMサブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

① 取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで増設できます。

型名	メモリ容量
PK-UG-M015	32MB
PK-UG-M016	64MB
PK-UG-M017	128MB

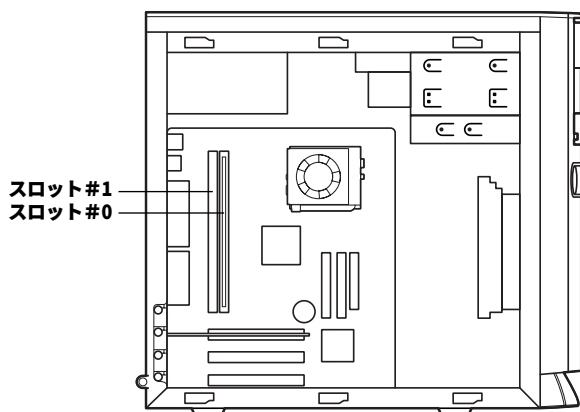
② スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。スロット#0から順番に取り付けることになります。メモリ容量による取り付け順序の制限はありません。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット#0	スロット#1
64MB	64MB	—
	32MB	32MB
96MB	64MB	32MB
128MB	128MB	—
	64MB	64MB
256MB	128MB	128MB

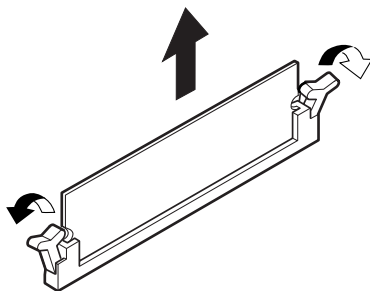
③ スロットの位置



増設RAMサブボードの取り外し

✓ **チェック!!** 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.57)
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



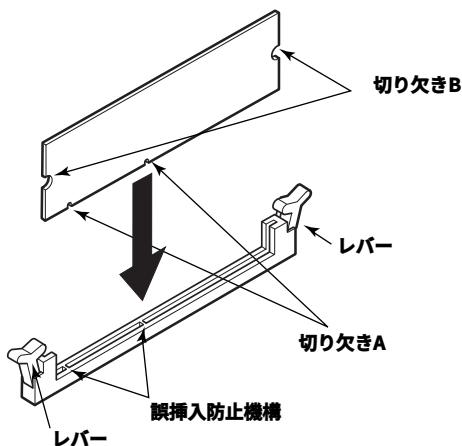
- 4 増設RAMサブボードを上へ引き抜く
取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。
- 5 静かに本体を縦置きに戻す
- 6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.58)

増設RAMサブボードの取り付け

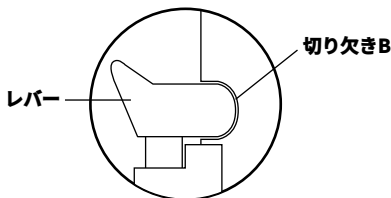
- ✓ **チェック!!** 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.57)
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 増設RAMサブボードを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込むスロット #0、#1の順番で取り付けてください。

- ✓ **チェック!!** 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



4 左右2ヶ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサブボードをしっかりと押し込む



✓ **チェック!!** 増設RAMサブボードがしっかりと押し込まれたことを確認してください。しっかりと押し込まれていないと故障の原因となります。

5 静かに本体を縦置きに戻す

6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.58)

メモリ容量の確認方法

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。



表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

✓ **チェック!!** システムのプロパティでメモリの容量を確認すると、搭載されている容量より5MB少ない容量が表示されます。これは、メインメモリがシステムやビデオメモリとして5MB割り当てられるため故障ではありません。ビデオメモリへの割り当て容量はBIOSセットアップメニューで変更できます。詳しくは「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「BIOS設定」「ハードウェア環境の設定」の「Video Configuration Setupサブメニューの設定」をご覧ください。

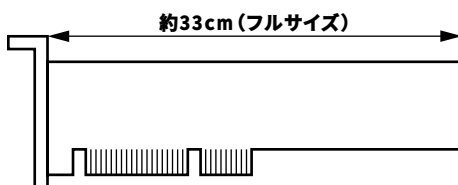
✓ **チェック!!** メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張するための各種PCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

PCIボードは、横幅が約33cm(フルサイズ)までありますが、約17cm(ハーフサイズ)以上のボードをPCIスロットに取り付けるためには下記条件がありますので確認してください。



取り付け条件

PCIスロット #1	フルサイズまで取り付け可能ですが、内蔵3.5インチベイに増設機器を取り付けた場合は、ハーフサイズまでとなります。
PCIスロット #2	

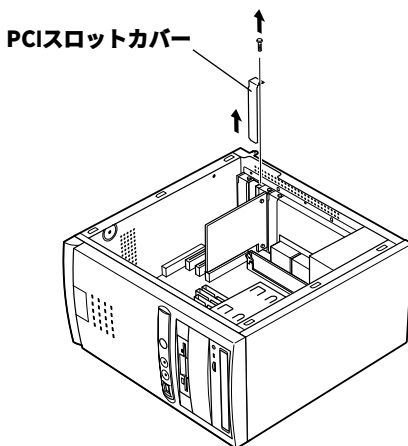
PCIボードの取り付け



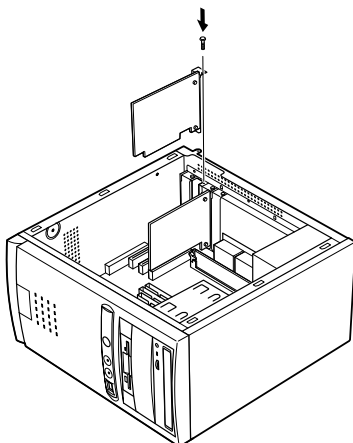
チェック!!

- ・PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCIボードを扱うと、PCIボードが破損する原因となります。PCIボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。
- ・標準で取り付けられているFAXモデムボードは、購入時に取り付けられていたスロットでご使用ください。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.57)
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 PCIスロットカバーのネジを1本外し、PCIスロットカバーを取り外す



4 PCIボードを取り付ける



5 手順3で取り外したネジを取り付ける

6 静かに本体を縦置きに戻す

7 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.58)

⚠ 注意



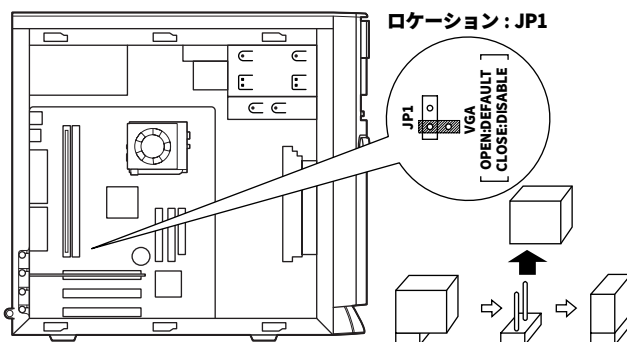
発火注意

レフトカバーを取り付けるときは、本体内のケーブルをはさまないようにしてください。

別売のPCIグラフィックアクセラレータボードをご利用の場合

本体内蔵のアクセラレータを利用せず、別売のPCIグラフィックアクセラレータボードを利用する場合には、次のようにストラップスイッチを変更する必要があります。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.57)
- 2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜いてから差し込む



- 3 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける (P.58)



チェック!!

- ・本体内蔵のアクセラレータが使用するVRAMは、メインメモリから割り当てられており、割り当てられる容量はBIOSセットアップメニューで設定できます。詳しくは「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「BIOS設定」の「BIOSセットアップメニューについて」をご覧ください。
- ・本体内蔵のアクセラレータを利用しない場合は、メインメモリを有効に使用するためにBIOSセットアップメニューで次のように設定してください。

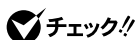
BIOSセットアップメニューの「Advanced」メニュー→「Video Configuration Setup」サブメニューの「Share Memory Size」を「2M」に設定する。

ファイルベイ用内蔵機器の増設

増設前の確認

① スロットの種類と数

本機は、増設用のファイルベイとして、内蔵3.5インチベイを1スロット、5インチベイを2スロット(1スロットはCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが実装済)装備しています。



チェック!

内蔵3.5インチベイにハードディスクドライブを増設する場合は、増設できるPCIボードのサイズに制限があります。「PCIボードの取り付け」の「取り付け前の確認」(P.66)をご覧ください。

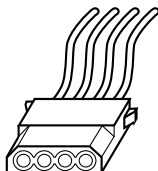
② 電源ケーブル

ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。

5インチベイ内蔵機器用	コネクタ(大)×2本(1本はCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブで使用済)
フロッピーディスクドライブ用 ...	コネクタ(小)×1本(フロッピーディスクドライブで使用済)
内蔵3.5インチハードディスクドライブ用 ...	コネクタ(大)×2本(1本は標準ハードディスクドライブで使用済)

電源ケーブルコネクタ(大)

電源ケーブルコネクタ(小)



⚠ 注意

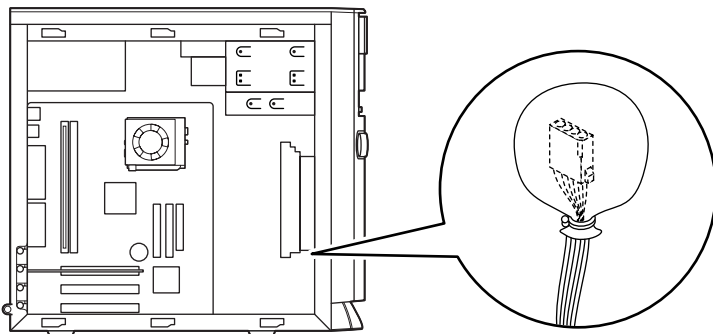


感電注意



発火注意

使用されていない電源ケーブルは、誤接触や帯電を防止するためのポリ袋で束ねられています。ファイルベイ用内蔵機器を増設するには、必要な電源ケーブルを取り出し、使用しない電源ケーブルはポリ袋で束ねておいてください。



③IDE機器用信号ケーブル

本機ではIDE機器用の信号ケーブルは次の通りに用意されています。

プライマリ Master : ハードディスクドライブで使用済み

Slave : 空き(内蔵3.5インチベイへの増設機器用)

セカンダリ Master : CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブで使用済み

Slave : 空き(5インチベイへの増設機器用)

④ドライブの設定

標準で内蔵されているハードディスクドライブ、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ、フロッピーディスクドライブの設定は次の通りです。ファイルベイに増設する内蔵機器のマニュアルをご覧ください。正しく設定してください。

- ・ ハードディスクドライブ … Master(Slaveへの変更は不可)
- ・ CD-ROMドライブまたは … Master(Slaveへの変更は不可)
CD-R/RWドライブ
- ・ フロッピーディスクドライブ … ユニットアドレス=0(0以外への変更は不可)

内蔵3.5インチベイ

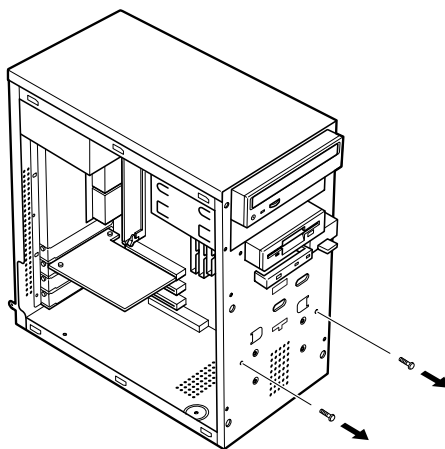
内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを増設することができます。

- ✓ **チェック!!** 内蔵3.5インチベイにハードディスクドライブを増設する場合は、増設できるPCIボードのサイズに制限があります。「PCIボードの取り付け」の「取り付け前の確認」(P.66)をご覧ください。

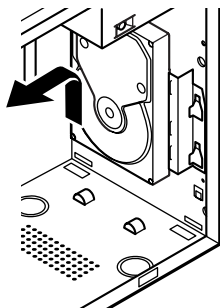
ハードディスクドライブの増設

- ✓ **チェック!!** ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルと一緒に見ながら増設してください。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.57)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す(P.59)
- 3 標準で内蔵されているハードディスクドライブシャーシのネジ2本を外す



4 ハードディスクドライブを上にし持ち上げて取り外す



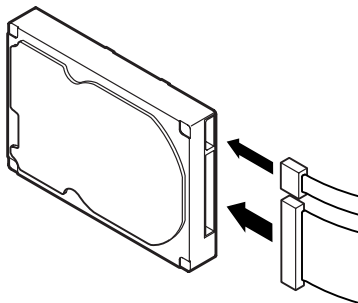
5 標準で内蔵されているハードディスクドライブから電源ケーブルと信号ケーブルを取り外す

IDEインタフェースのハードディスクドライブを増設する場合は、手順6へ進んでください。

SCSIインタフェースのハードディスクドライブを増設する場合は、増設する機器およびSCSIケーブルのマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルの接続を行ってから手順7へ進んでください。

6 標準で内蔵されていたハードディスクドライブの電源ケーブルから分岐している電源ケーブル(電源ケーブルコネクタ(大))をポリ袋から取り出し、増設用ハードディスクドライブのコネクタにしっかり差し込む

標準で内蔵されていたハードディスクドライブの信号ケーブルから分岐している信号ケーブルを増設するハードディスクドライブのコネクタにしっかりと差し込み、取り付ける

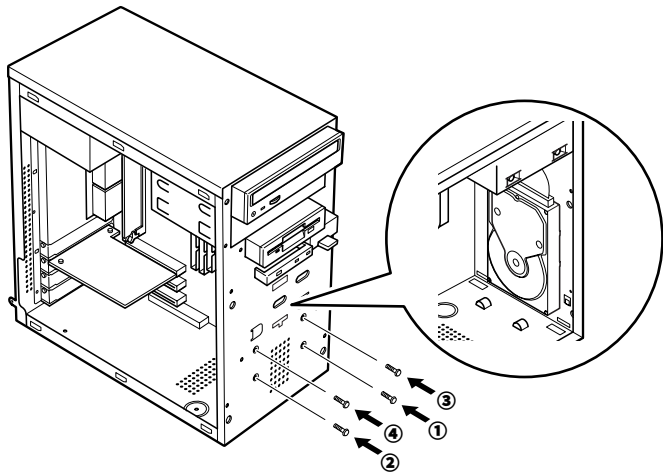


⚠ 注意



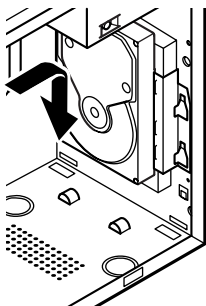
使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。

- 7** 増設するハードディスクドライブに添付されているネジ4本で、下から①、②、③、④の順に取り付け、増設するハードディスクドライブを固定する

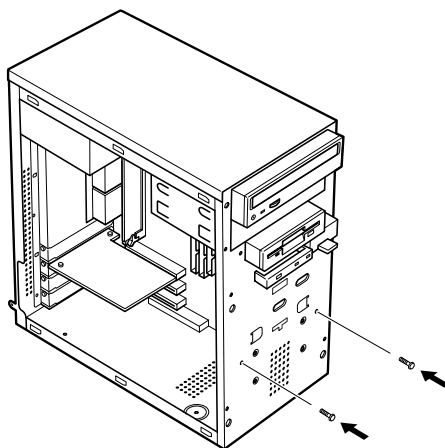


- 8** 標準で内蔵されていたハードディスクドライブに、電源ケーブルと信号ケーブルを取り外したときと逆の手順で取り付ける

- 9** 標準で内蔵されているハードディスクドライブを、取り外したときと逆の手順で取り付ける



- 10** 手順3で取り外したネジ2本でハードディスクドライブシャーシを固定する



- 11** フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける

- 12** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける (P.58)

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブにはフォーマットが必要なものもあります。ハードディスクのフォーマット方法は、増設用ハードディスクドライブのマニュアルをご覧ください。

増設したハードディスクドライブは、例えば次のような方法で確認することができます。

- 1** 本機の電源を入れ、Windowsを起動する
- 2** Windowsのデスクトップの画面の「マイコンピュータ」をダブルクリック

増設した分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。また、増設したハードディスクドライブが1つでも、フォーマットする際に、ハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンが増えています。

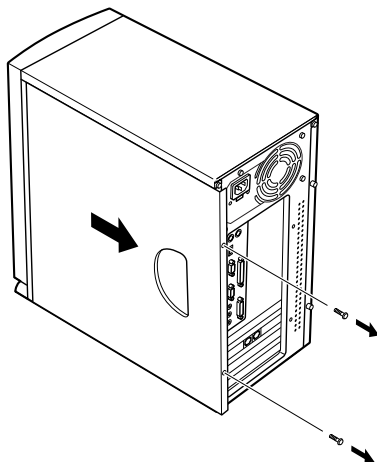
増設したハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えません。

5インチベイ

5インチベイ用内蔵機器の増設

- 1** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.57)
- 2** 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す (P.59)

3 本体背面のネジ2本を外し、ライトカバーを後方へ引いて取り外す

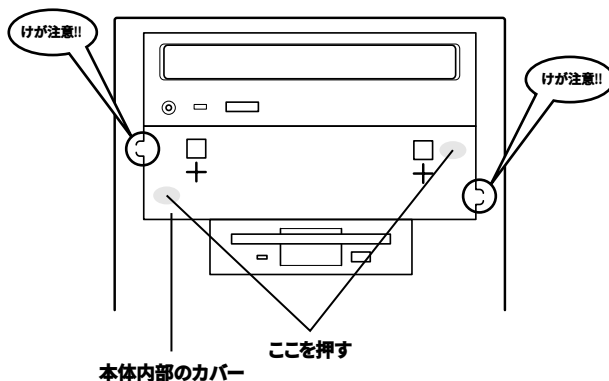


4 本体内部のカバーの上側と下側をカバーが取れるまで、数回から十数回親指で交互に押し込む

⚠ けが注意

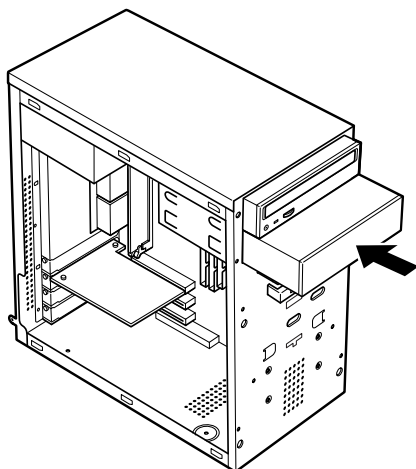


5インチベイに内蔵機器を増設する際、本体内部のカバーを折り取った跡が尖っている場合がありますので、けがをしないように注意してください。



✓ **チェック!!** 取り外したカバーは、再度本体に取り付ける必要はありません。

5 5インチベイ用内蔵機器を半分くらいまで挿入する



6 増設する内蔵機器のマニュアルに従い、信号ケーブルと電源ケーブルの接続を行う

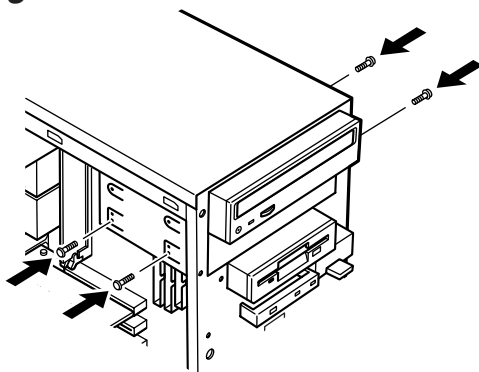
⚠ 注意



発火注意

使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。

7 5インチベイ用内蔵機器を奥まで差し込み、5インチベイ用内蔵機器の側面を増設用機器に添付されているネジ4本で固定する

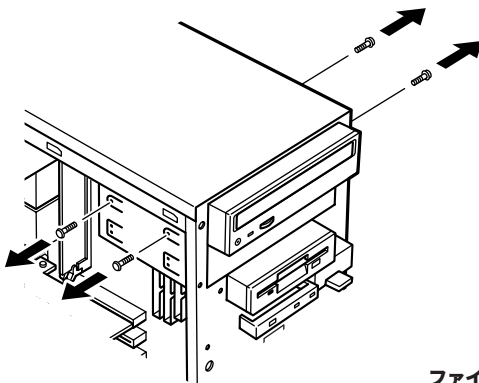


- 8 リムーバブルファイルを増設する場合は、「ファイルベイカバーの取り外し」の手順で、ファイルベイカバーを取り外す (P.60)
- 9 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 10 ライトカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 11 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける (P.58)

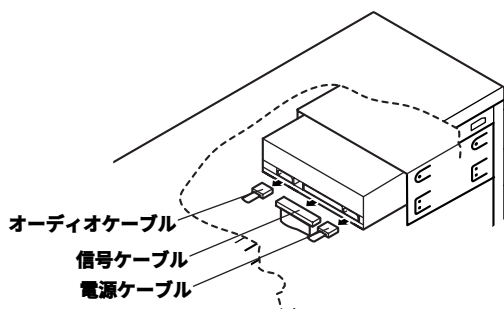
CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブの取り外し

本体に標準で装備されているCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器などに交換することができます。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.57)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す (P.59)
- 3 本体背面のネジ2本を外し、ライトカバーを後方へ引いて取り外す
- 4 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを側面から固定しているネジ4本を取り外す



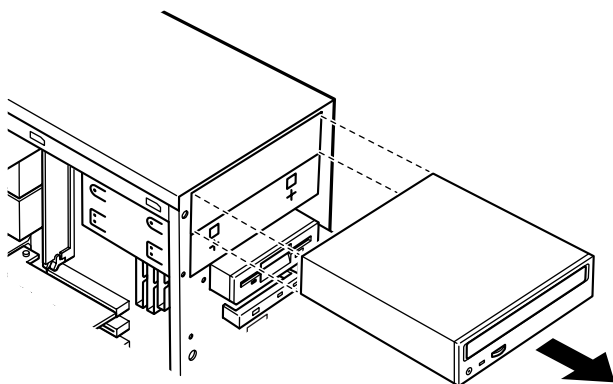
- 5** 5インチベイ用内蔵機器が増設されている場合は、5インチベイ用内蔵機器を固定しているネジ4本を取り外して、5インチベイ用内蔵機器を半分ほど前へ押し出す
増設されていない場合は手順5に進む
- 6** CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを少し前に引き出し、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルを取り外す



チェック!! 電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルが取り外しにくい場合は、以下の要領で取り外してください。

- ① 5インチベイ用内蔵機器が増設されている場合は、5インチベイ用内蔵機器を引き抜く
- ② マザーボードからCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブに接続されている信号ケーブルを引き抜く
- ③ CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを全部引き抜いてから、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルを取り外す

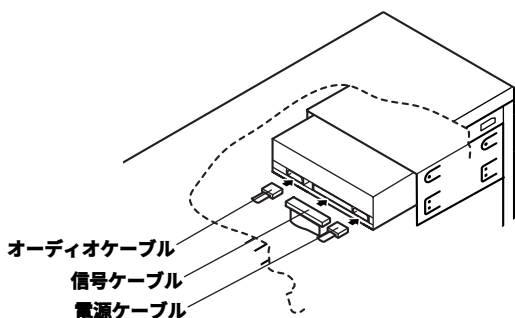
7 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを引き抜く



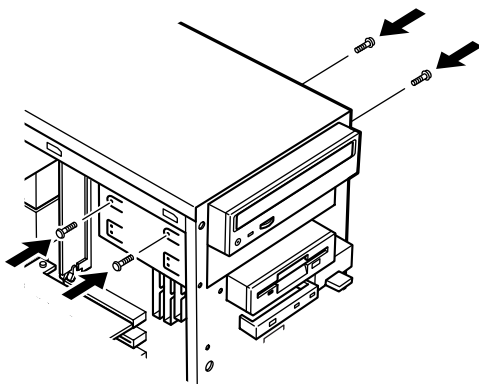
CD-ROMドライブの取り付け

同じ手順でCD-R/RWドライブやDVD-ROMなどの5インチベイ機器を取り付けられます。

- 1 標準で内蔵されているCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを取り外す(P.79)
- 2 CD-ROMドライブをファイルベイに半分ほど挿入する
- 3 CD-ROMドライブのオーディオケーブル、信号ケーブル、電源ケーブルを接続する



4 CD-ROMドライブを押し込み、側面からネジ4本で固定する



5 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける

6 ライトカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

7 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける (P.58)

システム設定

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵されています。BIOSセットアップメニューは、日付と時間の設定、ハードウェア環境の確認と変更、セキュリティの設定、省電力の設定、起動デバイスからの起動順位の設定ができます。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」の「BIOS設定」をご覧ください。

この章の内容

購入時の設定に戻すには	84
パスワードの解除	85



購入時の設定に戻すには

ここでは、BIOSセットアップメニューで変更した設定を、購入時の設定に戻す方法について説明します。

購入時の設定に戻す方法

- 1** 本体の電源を入れたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 2** Exitメニューから「Load Optimal Settings」を選択し、【Enter】を押す
- 3** 【Enter】を押す

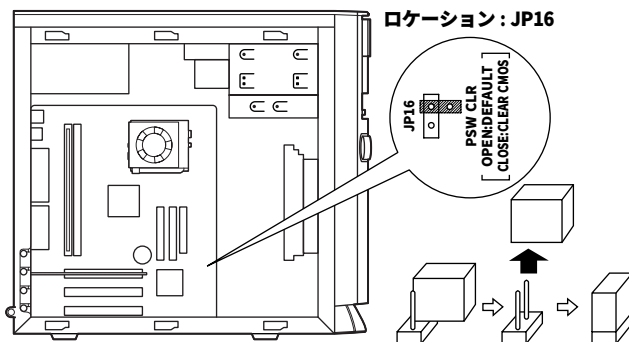
パスワードの解除

設定したスーパーバイザパスワード、ユーザパスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。パスワードを忘れてしまった場合は、次の方法で、パスワードを解除することができます。

パスワードを忘れた場合の手順

- ✓ **チェック!!** 無断でパスワードを解除することを防ぐために、セキュリティロックに錠を取り付けることをおすすめします。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.57)
- 2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜いてから差し込む



- 3 レフトカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 4 電源を入れる

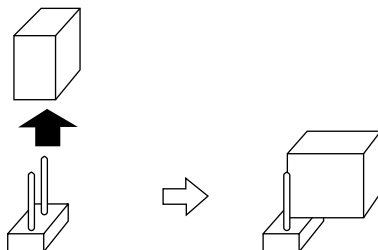
- ✓ **チェック!!** 必ずレフトカバーを取り付けた後に電源を入れてください。

- 5** 次の画面が表示されるので、[F4]を押す
HardDisk Pre-Delay...
Please remove Jumper block to normal position, and...
Press F1 to clear CMOS. It will reboot directory.
Press F4 to clear PASSWORD.

6 電源を切る

- 7** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す
(P.57)

8 ストラップスイッチのジャンパを元の位置に戻す



- 9** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける
(P.58)

アプリケーションご利用時の ご注意

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションをご利用になるにあたってのご注意を説明しています。

この章の内容

知っておきたい便利な機能とアプリケーション	88
コンピュータウイルスに備える (VirusScan)	89
CyberTrio-NX	91
CyberWarner-NX	96
NEC Soft MPEG1.0	100
PCポータル	101
プレーヤ-NXご利用時のご注意	103
Easy CD Creator	104
DirectCD	106

知っておきたい便利な機能とアプリケーション

本機には、次のようなアプリケーションが添付されています。

機 能	購入時の状態	アプリケーション
文章を作成する	○	Word 2000 (Office 2000モデルのみ) 一太郎Home (ジャストホームモデルのみ)
インターネットへ接続する 電子メールを送受信する	○	Internet Explorer Outlook Express
プロバイダへの入会手続きをする	○	BIGLOBEインターネット接続ツール BIGLOBE電話で入会ナビ AOL (AOLで簡単インターネット) ニフティサーブでインターネット DIONかんたんインターネット1.0 ODN (Open Data Network) NEWWEBサインアップ
インターネット上のさまざまな情報への入口を見つける	○	PCポータル
コンピュータウイルスを検出して除去する	△	VirusScan
利用者のレベルにあわせてOSの操作可能な範囲を設定する	△	CyberTrio-NX
OSの動作に影響を与えるファイルを保護・監視する	△	CyberWarner-NX
音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する	△	プレーヤ-NX NEC Soft MPEG 1.0
pdf形式文書の表示、閲覧 印刷をする	○※1/△	Acrobat Reader
CD-RWを利用する	△	Easy CD Creator ※2
	○	DirectCD ※2
目のストレッチソフト	△	めぐみ for Windows

○: 購入時にインストールされているアプリケーションです。

△: 購入時に添付されているアプリケーションCD-ROMに入っています。利用するためにはインストールが必要です。詳しくは「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。

※1: CD-R/RWドライブ搭載モデルはインストール済み

※2: CD-R/RWドライブ搭載モデルのみ

コンピュータウイルスに備える (Virus Scan)

概要

- ✓ **チェック!!** VirusScan は、購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、『電子マニュアル』の「アプリケーションの追加と削除」「VirusScan」を参照してセットアップを行ってください。

コンピュータウイルスの検出、識別、および除去を行います。
ウイルスを検査するには、次の4通りの方法があります。
詳しくはVirusScanセントラルのヘルプをご覧ください。

- **VShield**
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。
- **ScreenScan**
スクリーンセーバの実行中に、ウイルスが感染していないかを検査します。
- **VirusScan スケジューラ**
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスが感染していないかを検査します。
- **VirusScan**
その場でウイルスが感染していないかを検査します。

- ✓ **チェック!!**
- ワクチンソフトのウイルス検索エンジンは順次更新されます。将来、検索エンジンを新しくしなければ、定期パターンアップだけでは発見できないウイルスが出現することが予測されます。
詳しくは、「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「必ずお読みください」をご覧ください。
 - 「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。
 - コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART6 トラブル解決Q&A」の「その他」の「コンピュータウイルスが検出された」(P.188)をご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScanセントラル」をクリック
- 2 「VirusScanセントラル」ウィンドウが表示されたら、「スキャン」をクリック
「MCAfeeによる保護」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。VirusScanの画面が表示されます。詳しくは、VirusScanのヘルプを参照してください。

新種のウイルスに対応するための注意事項

本機にプリインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。

✔チェック!! インターネットに接続できる環境（プロバイダに入会済みの場合）は、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。ただし、「VirusScanセントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選択した場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分にご注意ください。

✔チェック!! DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

CyberTrio-NX

概要

CyberTrio-NXは、Windows 98の利用レベルにあわせ、次の3つのモードから選択できます。

- ・ キッズモード : 「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみを使用できます。
- ・ ベーシックモード : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・ アドバンストモード : Windows 98へのフルアクセスが可能です。



チェック!

CyberTrio-NXは、購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」の「CyberTrio-NX」を参照してCyberTrio-NXをインストールしてください。

各モード間の移行方法

各モード間を移行するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」より選択します。

キッズモードから他のモードに変更するときの、パスワードの設定を行うことが可能です。パスワードを設定することでプログラムのファイルを操作できるベーシックモードやアドバンスモードに変更することを保護します。パスワードはベーシックモード、またはアドバンスモードで設定可能です。



チェック!!

- ・モードの変更を行う前に、必ず起動中の他のアプリケーションを終了させ、編集中の必要なデータなどは保存してください。
- ・Windows 98で「ユーザ別の設定」を行っている場合、CyberTrio-NXのモードを切り替えることはできません。CyberTrio-NXのモードを切り替えるために、「ユーザ別の設定」を解除するには、次の設定を行ってください。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- ②「パスワード」をダブルクリック
- ③「ユーザ別の設定」タブで、「このコンピュータでは、すべてのユーザーが同じ基本設定とデスクトップ設定を使う」を選択する
- ④「OK」ボタンをクリック
- ⑤ Windowsの再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

パスワードの設定方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」の「動作設定」をクリック
- 2 「パスワードの設定」タブをクリック
- 3 「パスワードを設定する」にチェックし、パスワードを入力する
- 4 パスワードの確認のためにもう一度同じパスワードを入力する
- 5 設定を有効にするために「OK」ボタンをクリック



チェック!!

- ・入力したパスワードは忘れないようにしてください。
- ・設定したパスワードを忘れたときは、次の緊急用パスワードを入力して他のモードへ変更してからパスワードをもう一度設定し直してください。

「緊急用パスワード」:71709981

ベーシックモードの利用時の注意

利用範囲

ベーシックモードでは以下の点を制約しています。
これらの機能を使う場合はアドバンスモードに切り換えてお使いください。

- コントロールパネルの以下の機能
 - ・ ネットワーク
 - ・ マルチメディア
 - ・ システム
 - ・ プリンタで「プリンタの削除」
- レジストリエディタやシステムエディタの使用
- CyberWarner-NXを使用時および起動時は「警告あり」のモードでの起動となる（起動後は「警告なし」に変更可能）。

タスクバーの設定

変更できません（再起動すると元の設定に戻ります）
タスクバーの設定は、購入時の状態で使用してください。デスクトップの設定を変更して使用する場合は、アドバンスモードで使用してください。

safeモードで起動時の注意

Safeモードで起動した場合、CyberTrio-NXがベーシックモードになっていると、ハードウェアの設定を変更できません。
このような場合は、以下の手順で設定の変更を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に以下のように入力し、「OK」ボタンをクリック
c:\cybertrio\sascript c:\cybertrio\script\normal.sas
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「システム」をダブルクリック
- 5 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、変更が必要なハードウェアの設定を行う

キッズモードの利用時の注意

利用範囲

キッズモードは以下の点を制約しています。

- ・ スタートメニューから選択できるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・ マウスの右クリックは動作しません。
- ・ CyberWarer-NXが起動しているときは、「警告あり」のモードで起動されます。このとき、アイコンは表示されません。
- ・ タスクバーにはCyberTrio-NXのインジケータとボリュームコントロールのインジケータだけが表示されます。



CyberWarner-NX

概要

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告のダイアログを表示します。また、ログファイルを採取して保守時に使用することができます。

- ✓ **チェック!** CyberWarner-NXは、購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」→「CyberWarner-NX」を参照してCyberWarner-NXをインストールしてください。

CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 3 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをコ)噬bク
- 4 常駐させる場合は「オプション」→「起動時にCyberWarner-NXを実行する」のチェックボックスにチェックを付ける
- 5 「OK」ボタンをクリック

CyberWarner-NXを終了する方法

- 1 タスクバーに表示されている「CyberWarner-NX」アイコン
をクリック
- 2 「終了」をクリック
- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリック

ログファイルの表示

ログ対象ファイルに対して操作した場合、その操作内容がLogViewerに保存されます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」から「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 2 「一般」タブの「参照」ボタンをクリック

ログビューワが表示されます。

ログビューワの上のリストに表示されている項目の説明は下記の通りです。

データ:	記録した日時を表示
オブジェクト:	ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
オーナー:	操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
メモ:	操作の状態および簡単な説明を表示。操作の状態は、下記のどちらかになります。 (1) ユーザ操作 (2) アプリケーション操作

上のリストでデータを選択すると、下のリストのフィールド名に表示される項目に対するコンテンツは下記の通りです。

管理者:	「ファイル」と表示
復元する:	バックアップファイルが使用可能かどうかを表示
復元されました:	ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示 1 復元されました 0 復元されていません

日付:	記録した日時を表示
ソース:	ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
バックアップ:	バックアップファイルが存在すれば、絶対パスで表示
オーナー:	操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
オペレーション:	変更/削除等、操作の種類を表示
メモ:	操作の状態および簡単な説明を表示。上のリストの、メモと同様



チェック!!

採取されたログファイルは保守モードでのみ操作可能です。保守モードは NECの担当員から指示があったときに使用してください。通常はご使用になれません。

ログ対象ファイルの説明

以下のファイルを操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。

```
\autoexec.bat
\config.sys
\msdos.sys
\Windows\command\*.exe
\Windows\command\*.com
\Windows\command\*.bin
\Windows\command\*.ini
\Windows\command\*.sys
\Windows\system\*.dll
\Windows\system\*.vxd
```

以下のファイルを操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

```
\command.com
\io.sys
\Windows\win.com
\Windows\notepad.exe
\Windows\regedit.exe
```

```

\Windows\explorer.exe
\Windows\system\vm32\*.＊
\Windows\command.com
\Windows\himem.sys
\Windows\system\sysedit.exe
\Windows\system\iosubsys\*.mdp
\Windows\system\iosubsys\*.pdr
\Windows\rundll.exe
\Windows\rundll32.exe
\Windows\progman.exe
\Windows\control.exe
\Windows\winfile.exe
\Windows\taskman.exe
\Windows\aztpnp.exe
\Windows\winsock.dll

```

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。また、他のアプリケーションをインストールした場合に以下のファイルに修正が加わると自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

```

\Windows\win.ini
\Windows\system.ini

```



チェック!!

- ・監視対象ファイルは変更できません。
- ・CyberWarner-NXでは監視の対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの「削除」や「名称変更」は行わないでください。フォルダ名が変更された場合、ファイルを監視することができなくなります。
- ・CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除する場合、ゴミ箱の中身がないにもかかわらず、中身があるように表示されることがあります。このような場合には、以下の手順でゴミ箱の中身の状態と表示をあわせてください。

- ① 「ゴミ箱」を右クリック
- ② 表示されたメニューで「プロパティ」をクリック
- ③ 「ゴミ箱のプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック



NEC Soft MPEG1.0

概要

プレーヤ-NXなどで、MPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。
MPEGファイルとしては拡張子が".mpg"のものの他にビデオCD内の拡張子が".dat"のものを再生することができます。



チェック!!

NEC Soft MPEG1.0は、購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」の「NEC Soft MPEG1.0」を参照してNEC Soft MPEG 1.0をインストールしてください。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

PCポータル

概要

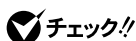
デスクトップ上のメニューをクリックするだけで、インターネット上のさまざまな情報への入口にアクセスできます。マネー、くらし・教育、趣味、マルチメディアのジャンル別メニューや、各企業のご紹介情報コーナーをクリックしてください。きっとお好みの情報や入口が見つかります。

● ジャンル別メニュー

各ジャンルに適した情報へのリンク集が表示されます。リンク集の中からお好みの企業・サービス名をクリックすると、各企業の情報を紹介するインターネット上のホームページにアクセスします。

● 各企業のご紹介情報

各企業の情報の詳細を紹介するインターネット上のホームページにアクセスします。



チェック!

インターネットに接続するための設定が終わっていない場合は、このパソコンに用意されたご紹介情報が表示されます。それぞれのご紹介情報の内容については、掲載元の企業にお問い合わせください。

PCポータルを閉じる

PCポータルをデスクトップに表示されないようにすることができます。

1 マウスポインタをPCポータルのウィンドウの「PCポータル」に合わせる

メニュー枠が表示されます。

2 ☒ ボタンをクリック

「デスクトップのPCポータルを非表示にします」と表示されます。

3 「はい」をクリック

デスクトップに「PCポータル再表示」というアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとPCポータルを再表示できます。「いいえ」をクリックすると、デスクトップには「PCポータル再表示」というアイコンは表示されません。

PCポータルを表示する

デスクトップにPCポータルが表示されていないときは、次のようにして表示します。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリック
 - 2 「画面」アイコンをダブルクリック
 - 3 「Web」タブをクリック
 - 4 「Active DesktopをWebページとして表示」が☒ (オン)になっていることを確認する
 - 5 「PCポータル」をクリックして☒ (オン)にする
 - 6 「OK」ボタンをクリック
- 以上で、デスクトップにPCポータルが表示されます。

起動方法

- 1 デスクトップ上の「PCポータル」のジャンル別メニューか、各企業のご紹介情報の絵柄の中から見たいものをクリック
Internet Explorerが起動して、それぞれの情報が表示されます。



チェック!!

PCポータルを活用するには、インターネットに接続する準備ができていない状態でおすすしめます。インターネット接続の準備ができていない状態で各メニューをクリックした場合は、このパソコンに用意されたご紹介情報が表示されます。

- ・ ジャンル別メニューをクリックしたとき
→各ジャンルに応じた各企業のご紹介ページのリンク集
- ・ 各企業別の絵柄部分ををクリックしたとき
→各企業のご紹介ページ

プレーヤ-NXご利用時のご注意

● 音楽CD(オーディオCD)、Video CD、カラオケCD、Photo CDを再生表示します。

- ・ CD-ROMドライブ搭載モデルの場合プレーヤ-NXは、購入時の状態ではインストールされていません。プレーヤ-NXをお使いになる場合は、『電子マニュアル』の「アプリケーションの追加と削除」「プレーヤ-NX」を参照してプレーヤ-NXをインストールしてください。
- ・ CD-ROMドライブ搭載モデルの場合プレーヤ-NXでMPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生する場合には、NEC Soft MPEG1.0が必要です。「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」を参照して、インストールしてください。
- ・ プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているとき、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをマウスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
- ・ 「インストーラ-NX」や「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でCDプレーヤーを削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、CDプレーヤー、プレーヤ-NXの順で再追加してください。

● 対応するCD

音楽CD(オーディオCD)、Video CD(Ver1.1) /カラオケCD(Ver1.1)、Video CD(Ver2.0)、Photo CD、Photo CDポートフォリオ

Easy CD Creator

このアプリケーションは、CD-R/RWドライブ搭載モデルのみに添付されています。

概要

Easy CD Creatorを利用すれば、さまざまなオリジナルCD-ROMを作成することができます。

- Easy CD Creatorで書き込んだCD-R/CD-RWメディアは、他のパソコンのCD-ROMドライブでもそのまま読むことができます。他の人にCD-R/CD-RWメディアでデータを渡したい場合などに適しています。
- Easy CD Creatorはご購入時の状態ではインストールされていません。「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください、インストールしてからご使用ください。
- 書き込むためには、Easy CD Creatorを起動する必要があります。マイコンピュータやエクスプローラからは書き込めません。



Easy CD Creatorの使い方についての詳細は、ヘルプをご覧ください。

Easy CD Creator使用時の注意

- DirectCDでフォーマットしたCD-R/RWメディアに、Easy CD Creatorで書き込むことはできません。
- 本機には、4倍速書き込み可能なCD-R/RWドライブ(CD-Rは8倍速)が搭載されていますが、CD-R/CD-RWメディアに4倍速(CD-Rは8倍速)で書き込むためには、CD-R/CD-RWメディアが対応している必要があります。詳しくは、CD-R/CD-RWメディアの発売元にお問い合わせください。
- CD-R/CD-RWの書き込みには時間がかかる場合があります。CD-R/CD-RWへのデータ書き込み中に他のアプリケーションを使用したり、一定時間が経過すると動作するような常駐プログラム(スクリーンセーバやメール自動読み込み等)が原因で、書き込みエラーが発生する場合があります。書き込みエラーの発生を防ぐため、書き込みを始めるときは、他のアプリケーションを終了させ、スクリーンセーバや省電力の機能が働かないように、あらかじめ動作設定を無効にしておいてください。

- ・ データを書き込んだCD-RWを他のパソコンのCD-ROMドライブで読み込む場合は、マルチリード対応のCD-ROMドライブでご使用願います。マルチリード対応CD-ROMドライブの確認は、各メーカーにご確認願います。

 マルチリード対応のCD-ROMドライブ

CD-RWは光の反射率が低いため、CD-RWメディアも読み出せるようにしたCD-ROMドライブのこと。

DirectCD

このアプリケーションは、CD-R/RWドライブ搭載モデルのみに添付されています。

概要

- ・ フロッピーディスクなどに書き込むのと同じような感覚で、マイコンピュータやエクスプローラなどからCD-R/CD-RWメディアに書き込むことができます。アプリケーションから直接保存することもできます。ハードディスクのバックアップなどに適しています。
- ・ CD-RWメディアをDirectCD用にフォーマットする必要があります。また、DirectCD用のCD-Rメディアを他のパソコンのCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブなどで読むためには、そのための処理が必要になります。
- ・ DirectCDの詳しい使い方についてはヘルプをご覧ください。

DirectCDを利用するときのご注意

- ・ Easy CD Creatorですでに書き込みを行ったCD-R/CD-RWメディアは、DirectCDでフォーマットすることはできません。
- ・ CD-R/CD-RWの書き込みには時間がかかる場合があります。CD-R/CD-RWへのデータ書き込み中に他のアプリケーションを使用したり、一定時間が経過すると動作するような常駐プログラム(スクリーンセーバやメール自動読み込み等)が原因で、書き込みエラーが発生する場合があります。書き込みエラーの発生を防ぐため、書き込みを始めるときは、他のアプリケーションを終了させ、スクリーンセーバや省電力の機能が働かないように、あらかじめ動作設定を無効にしておいてください。
- ・ データを書き込んだCD-RWを他のパソコンのCD-ROMドライブで読み込む場合は、マルチリード対応のCD-ROMドライブでご使用願います。マルチリード対応CD-ROMドライブの確認は、各メーカーにご確認願います。



マルチリード対応のCD-ROMドライブ

CD-RWは光の反射率が低いため、CD-RWメディアも読み出せるようにしたCD-ROMドライブのこと。

DirectCDを利用する

準備をする

DirectCDを利用するには、はじめて使用するCD-R/RWメディアには次のような処理が必要です。

CD-Rメディアも同様の手順でご利用になれます。

- 1 未使用のCD-RWメディアをCD-R/RWドライブにセットする
セットしたときにCD-R/RWドライブのウィンドウが自動的に開かれた場合は、 ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec DirectCD」の
「DirectCDウィザード」をクリック
Adaptec DirectCDウィザードの画面が表示されます。

その後の操作は画面の指示に従って進めてください。

DirectCDのCD-Rメディアを他のパソコンで見られるようにする

DirectCDのCD-Rメディアを他のパソコンで利用するには、そのためのアプリケーションが必要になります。DirectCDでフォーマットしたCD-Rを他のパソコンにセットすると「Adaptecセットアップウィザード」の画面が表示されます。その後は、画面の指示に従って操作を進めてください。



再セットアップするには

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元する方法を説明しています。

この章の内容

再セットアップについて	110
購入時と同じ状態にする－標準再セットアップ	115
全領域を1パーティションにして再セットアップする	
－カスタム再セットアップ	128
Cドライブのみ再セットアップする	
－カスタム再セットアップ	131
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする	
－カスタム再セットアップ	134



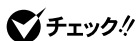
再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

- ・ 電源を入れても、電源ランプは点灯するが、Windows 98が動作しない。
- ・ ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
- ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
- ・ スキャンディスクを行っても修復できない。
- ・ Safeモードで起動しても問題が解決できない。
- ・ ハードディスクを1つのパーティションで利用したい。
- ・ Cドライブの容量を変えたい。



購入時の状態ではこのパソコンはFAT32に設定されています。他のOSを利用したいときや、FAT16でのみ利用できるソフトウェアを利用したいときは、カスタム再セットアップの「ユーザ設定」を実行してFAT16を選択してください。

再セットアップする前の注意

- 再セットアップは途中でやめないでください。

再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。

- 別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。

別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。

- ハードディスクのボリュームラベルを確認してください。

カスタム再セットアップを行う場合、ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。

「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すかボリュームラベルを削除してください。

Windows 98が起動しない場合は、「起動ディスク」を使って本機を起動し、コマンドプロンプトから以下のように入力してボリュームラベルを変更してください。

C:\WINDOWS\COMMAND\LABEL <ドライブ名>:[Enter]

再セットアップの準備

- ✓ **チェック!!** 大切なデータは、再セットアップする前にバックアップをとってください。ただし、Windows 98が起動しない状態や、ハードディスクドライブに深刻な障害が発生している場合は、バックアップできない場合があります。

再セットアップをするには、まず次の手順を行ってください。

1 バックアップをとる

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。

Windows 98が起動できる状態で再セットアップを行いたいときは、必ず大切なデータのバックアップをとってから再セットアップを行ってください。

大量データのバックアップをとるためには、CD-RやCD-RWなどを使用すると便利です。

2 パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやネットワークの設定などすべて購入時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定に戻すために、インターネットやネットワークの設定を控えてください。

3 別売の周辺機器を取り外す

マニュアルの『はじめにお読みください』に従って、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

増設機器が接続されたまま再セットアップを行うと正常に動作しなくなる場合があります。

ハードディスクを増設した状態で再セットアップを行うと、増設ハードディスクの内容を消去される場合があります。

4 必要なものを準備する

再セットアップの作業に入る前に、このパソコンに添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスクを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

- Office 2000モデルの場合は、「Office 2000 Personal」CD-ROMも必要です。
- ジャストホームモデルの場合は、「Justsystem Home」CD-ROMも必要です。



準備するものは、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべて準備するようにしてください。

また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。

これで再セットアップの準備は完了しました。次に「標準再セットアップとカスタム再セットアップ」の説明をご覧になり、再セットアップを行ってください。

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。「カスタム再セットアップ」については、さらに3つのパターンに分かれています。以下の4つのパターンから、それぞれ行う再セットアップ方法を選択してください。

標準再セットアップ(P.115)

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。ハードディスクについての知識のない方は、この方法で再セットアップすることをおすすめします。

カスタム再セットアップ

- 全領域を1パーティションにして再セットアップする(P.128)

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

- Cドライブのみを再セットアップする(P.131)

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを保存しておくことができます。

- ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザー設定)(P.134)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Dドライブのハードディスク容量を変更したいときはこの方法で再セットアップします。

購入時と同じ状態にする ー標準再セットアップ

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。

標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う (P.112)
- 2 システムを再セットアップする (約40分)
- 3 Windows 98の設定をする (約10分)
- 4
 - ・ Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする (約30分)
 - ・ ジャストホームモデルの場合は、Justsystem Homeを再セットアップする (約30分)
- 5 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 6 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 7 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする



チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

1. 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.112)

データのバックアップや、パソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

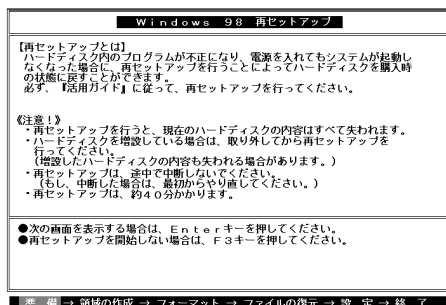
ハードディスクを増設した状態で再セットアップを行うと、増設ハードディスクの内容を消去される場合があります。

2. システムを再セットアップする

再セットアップは、ハードディスクのCドライブに対して行われます。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 次の画面が表示されます。



再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

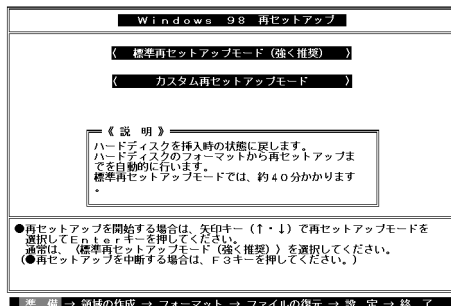
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk.…」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

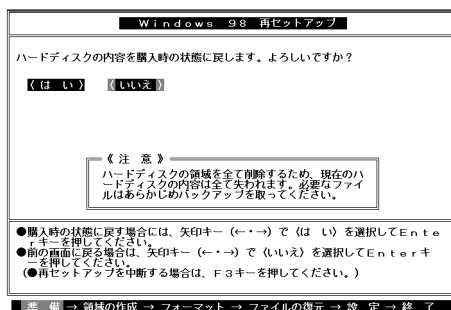
3 CD-ROM ドライブまたはCD-R/RWドライブに「バックアップ CD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す 「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す



6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す 「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



7 「はい」を選択し、[Enter]を押す

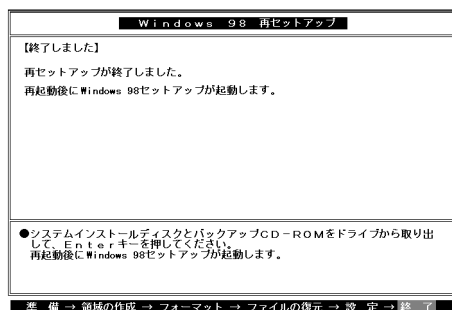
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約40分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。



チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ビーブ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。
- ・「再セットアップが終了しました」というメッセージが画面に表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめてからやり直してください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



チェック!!

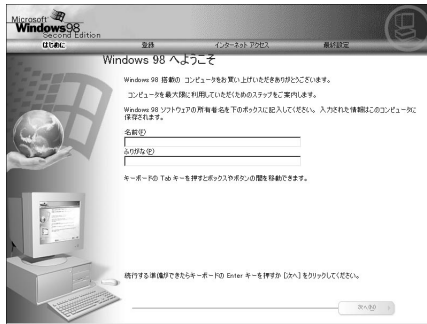
この画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめてからやり直してください。

8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

9 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

10 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。



3. Windows 98の設定をする

ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときに行ったWindowsのセットアップ(『はじめにお読みください』)と同じ操作です。

1 「Windows 98へようこそ」の画面で、キーボードを使ってこのパソコンを使う人の名前とふりがなを入力する

名前を入力しないと、次の手順に進めません。ふりがなは入力しなくてもかまいません。

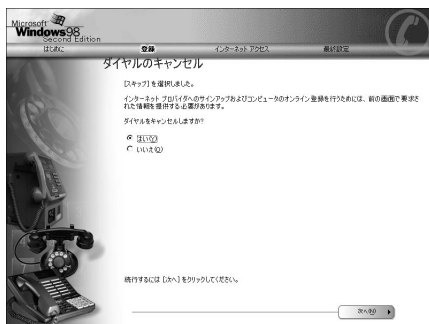
ただし、ここで入力した名前、ふりがなは変更できません。変更する場合は、再セットアップする必要があります。

名前は、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。

2 入力が終わったら、「次へ」ボタンをクリック

「モデムを使って接続する」ウィンドウが表示されます。

3 ここでは接続しないので「スキップ」ボタンをクリック 「ダイヤルのキャンセル」ウィンドウが表示されます。



✓チェック!! 「戻る」をクリックすると「Windows 98へようこそ」の画面に戻ります。

4 「はい」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック 「Windowsユーザー使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。 ▼(スクロールボタン)をクリックするか、キーボードの【Page Down】を押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。



5 「同意する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック 「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。 (「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもういちど最初からやり直してください)

● Office 2000 Personalの再セットアップ

1 「Office 2000 Personal CD-ROM」をCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットする

「Microsoft Office 2000へようこそ」ウィンドウが表示されます。



チェック!

「Microsoft Office 2000へようこそ」ウィンドウが自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし「CD-ROM」アイコンをダブルクリックしてください。

2 「ユーザ情報(ユーザ名、頭文字、所属、CDキー)」を入力する ここで必要であれば、ユーザ名やその他の項目を入力しなおしてください。なお、CDキー(Office 2000 PersonalのCD-ROMケースに貼付)をここで入力すると、Office 2000 アプリケーションを最初に起動したときのCDキーの入力作業がなくなります。

3 「次へ」をクリック

「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」ウィンドウが表示されます。

4 「使用許諾契約書」の条項に同意します。」の○をクリックして、○にする

5 「次へ」をクリック

「Microsoft Office 2000インストールの準備」ウィンドウが表示されます。

6 (カスタマイズ)をクリック

「Office 2000を以下の場所にインストールします」と表示されます。

7 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」になっていることを確認して「次へ」をクリック

「Microsoft Office 2000:機能の選択」ウィンドウが表示されます。

8 「 Microsoft Office」をクリック

プルダウンメニューが表示されます。

9 「マイコンピュータからすべて実行」をクリック

10 灰色で表示されたフォルダがないことを確認して、「完了」をクリック

Microsoft Office 2000のインストールが始まります。しばらくお待ちください。インストールが終了すると「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

11 「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。再起動後「IMEのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

次の「●MS-IME2000の再セットアップ」に進んでください。

●MS-IME2000の再セットアップ

1 Windows再起動後「IMEのセットアップ」ウィンドウが表示されるので、「はい」ボタンをクリック

しばらくすると「Microsoft IME 2000セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「Microsoft IME 2000セットアップ」ウィンドウの「次へ」ボタンをクリック

使用許諾契約書の確認画面が表示されます。

3 使用許諾契約書をお読みにになり、内容に同意の上、「使用許諾契約書」に同意しますをクリックして、「次へ」ボタンをクリック

「ユーザ情報の登録」の画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリック

「Microsoft IME 2000インストールの準備が整いました」と表示されます。

5 「標準」が選択されているのを確認して、「次へ」ボタンをクリック 「インストールしますか？」と表示されます。

6 「インストール」ボタンをクリック

しばらくすると、「セットアップが完了しました」と表示されます。



チェック!

「インストールを継続する場合は次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、起動しているアプリケーションを終了して「再試行」ボタンをクリックしてください。

7 「OK」ボタンをクリック

「Microsoft IME 2000セットアップ」の画面が表示されます。

8 「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。再起動後、「Microsoft IME2000へのユーザ情報の登録」ウィンドウが表示されます。

9 「登録しない」をクリック

「Microsoft IME 2000日本語入力システム」の画面が表示されます。

10 をクリック

11 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブから、「Office 2000 Personal CD-ROM」を取り出す

以上で、Office 2000 Personalの再セットアップは終了です。

■ ジャストホームモデルのとき

Office 2000モデルのときは、手順が異なりますので、「■ Office 2000モデルのとき」(P.121)をご覧ください。

1 「Justsystem Homeセットアップディスク」をCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットする

「JUSTSYSTEM AutoPlayプログラム」が起動します。

2 「Justsystem Homeのセットアップ」をクリック

「Justsystem Homeのセットアップ」が表示されます。

3 「セットアップ開始」をクリック

「使用許諾契約の確認」が表示されます。

- 4 「確認」をクリック
「更新の確認」が表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ開始」が表示されます。
- 5 「次へ」をクリック
「使用者名の登録」が表示されます。
- 6 使用者名を入力して「次へ」をクリック
「シリアルナンバー・UserIDの登録」が表示されます。
- 7 シリアルナンバー・UserIDを入力して「次へ」をクリック
「使用者名・シリアルナンバーの確認」が表示されます。
- 8 正しく入力できていることを確認して、「登録する」をクリック
「セットアップ方法の選択」が表示されます。
- 9 「自動」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリック
「自動でのセットアップ」が表示されます。
- 10 「次へ」をクリック
「イラスト&フォームの選択」が表示されます。
- 11 「イラスト&フォームをすべてハードディスクで利用」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリック
「セットアップするフォルダの設定」が表示されます。
- 12 「C:\JUST」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリック
「ファイルのコピー開始:自動」が表示されます。
- 13 「コピー開始」をクリック
セットアップ終了後に「JustNetに入会するには」が表示されます。
- 14 「確認」をクリック
「ガイドメニューの設定」が表示されます。
- 15 「いいえ」が選択されていることを確認して、「OK」をクリック
「Justsystem Homeのセットアップ終了」が表示されます。

- 16 「再起動」をクリック
「Justsystem Home」が表示されます。
- 17 「OK」をクリック
Windowsが再起動します。
- 18 「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 19 「Jshome(Q:)」アイコンを右クリックして表示された一覧から
「開く」をクリック
- 20 「ガイドメニュー」フォルダをダブルクリック
- 21 「Jshmg001」をダブルクリック
「質問」が表示されます。
- 22 「はい」をクリック
「情報」が表示されます。
- 23 「OK」をクリック
- 24 「Jshmg002」をダブルクリック
「質問」が表示されます。
- 25 「はい」をクリック
- 26 「OK」をクリック
- 27 「Jshmg003」をダブルクリック
「質問」が表示されます。
- 28 「はい」をクリック
「情報」が表示されます。
- 29 「OK」をクリック
Justsystem homeを起動します。

30 「ガイドメニューの設定」をクリック
「設定」が表示されます。

31 ガイドメニューの「デザイン」のプルダウンメニューから「オリジナル」をクリック

32 「OK」をクリック

33 ガイドメニューの「閉じる」をクリック

これで「Justsystem Home」のセットアップは終了です。

5. 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す

「再セットアップの準備」(P.112)の手順3「別売の周辺機器を取り外す」で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。複数の周辺機器を取り付ける場合は、一度にすべての周辺機器を取り付けずに、1つずつ取り付け、設定をしてください。

参照 周辺機器の設定→「PART2 周辺機器を利用する」(P.49)
周辺機器のマニュアル

6. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、再設定してください。

インターネットを使っているときは、「再セットアップの準備」(P.112)の手順2「パソコンの設定を控える」で控えたメモの設定に戻してください。IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

7. 購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、ご利用になる場合には、インストールし直してください。



全領域を1パーティションにして再セットアップするーカスタム再セットアップ

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

- 1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う (P.112)
- 2 システムを再セットアップする (約50分)
- 3 Windows 98 の設定をする (約10分)
- 4
 - ・ Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする (約30分)
 - ・ ジャストホームモデルの場合は、Justsystem Homeを再セットアップする (約30分)
- 5 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 6 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 7 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

1. 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う。(P.112)

データのバックアップやパソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設した状態で再セットアップを行うと、増設ハードディスクの内容を消去される場合があります。

2. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面が表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk …」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、[Enter]などのキーを押してください。

3 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

再セットアップモードを選択する画面が表示されます。

5 「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す カスタム再セットアップモードを選択する画面が表示されます。

6 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、 【Enter】を押す 「ハードディスクの領域を下記のように設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

7 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブに「バックアップ CD-ROM」をセットする

8 「はい」を選択し、【Enter】を押す

「ハードディスクの領域作成中です。」と表示されます。

ハードディスクの領域作成とシステムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分かかります。

途中で、フロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。



チェック!!

ハードディスクの領域の作成とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

10 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

Windows 98 が再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入時と同じ状態にする－標準再セットアップ」の「3.Windows 98 の設定をする」(P.119)に進んで、その後の操作を行ってください。



チェック!!

再セットアップの作業は、これで終わりではありません。必ず「購入時と同じ状態にする－標準再セットアップ」の「3.Windows 98 の設定をする」(P.119)以降の操作を行ってください。

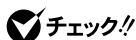
Cドライブのみ再セットアップする ーカスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

「Cドライブのみ再セットアップする」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。



チェック!!

この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

- 1 「再セットアップの準備」の手順1〜4を行う (P.112)
- 2 システムを再セットアップする (約50分)
- 3 Windows 98 の設定をする (約30分)
- 4
 - ・ Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする (約30分)
 - ・ ジャストホームモデルの場合は、Justsystem Homeを再セットアップする (約30分)
- 5 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 6 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 7 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする



チェック!!

Cドライブのみの再セットアップを行った場合、Cドライブ以外のハードディスクにインストールしていたアプリケーションがそのまま残っていたとしても、そのアプリケーションがうまく動作しないことがあります。この場合、再セットアップ後にそのアプリケーションの再インストールも行ってください。

1. 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う (P.112)

データのバックアップやパソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設した状態で再セットアップを行うと、増設ハードディスクの内容を消去される場合があります。

2. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面が表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk…」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】などのキーを押してください。

3 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

再セットアップモードを選択する画面が表示されます。

5 「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す カスタム再セットアップモードを選択する画面が表示されます。

6 「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す
「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。
よろしいですか?」と表示されます。

7 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブに「バックアップ
CD-ROM」をセットする

8 「はい」を選択し、【Enter】を押す
システムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異
なりませんが、約50分かかります。
途中で、フロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージ
が表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が
表示されます。

✓チェック! ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がな
い限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押し
たりしないでください。
再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディ
スク」を取り出す

10 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブから「バックアッ
プCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す
Windows 98 が再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」
ウィンドウが表示されます。
これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入時と同じ状態にするー標準再セットアップ」の「3.Windows 98
の設定をする」(P.119)に進んで、その後の操作を行ってください。

✓チェック! 再セットアップの作業は、これで終わりではありません。必ず「購入時と同じ
状態にするー標準再セットアップ」の「3.Windows 98 の設定をする」(P.119)
以降の操作を行ってください。



ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップするーカスタム再セットアップ

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

 **チェック!** ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示されている画面と異なることがあります。

ユーザ設定の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いております。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う (P.112)

2 領域を削除する (約5分)

 **チェック!** ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。

3 領域を作成する (約5分)

4 ドライブを初期化(フォーマット)する (約5～15分)

5 システムを再セットアップする (約50分)

6 Windows 98 の設定をする (約10分)

7

- ・ Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする (約30分)
- ・ ジャストホームモデルの場合は、Justsystem Homeを再セットアップする (約30分)

- 8 フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
- 9 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 10 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 11 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

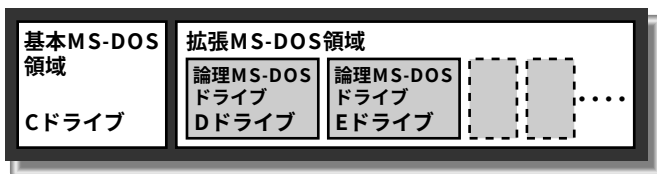
再セットアップ前に知っておきたいこと

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOS領域に分けます。基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows 98を起動するドライブ)になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

ハードディスクの領域



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。領域を作った後、カスタム再セットアップの画面からFORMATコマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。



基本MS-DOS領域

起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム

このパソコンはご購入時の状態では、FAT32ファイルシステムと呼ばれるファイルの管理方法を使って次のようにハードディスクの領域が作成されています。

ハードディスク総容量	Cドライブ	Dドライブ
約20Gバイトの場合	約16Gバイト (FAT32ファイルシステム)	残りの容量 (FAT32ファイルシステム)
約15Gバイトの場合	約12Gバイト (FAT32ファイルシステム)	モデルによってDドライブの領域は異なります

ハードディスクの管理方法にはFAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステムの2つがあります。Windows 98ではどちらでも利用できます。「ユーザ設定」の方法を使うと、再セットアップ中にFAT32ファイルシステムにするかFAT16ファイルシステムにするかを選択することができます。どちらのファイルシステムを利用すればいいのか、次の注意を参考にしてください。

●FAT16ファイルシステムを利用するときのご注意

- ハードディスクの領域は最大2,047Mバイトまでしか作成できません。
- 2,048Mバイト以上の領域は、FAT32ファイルシステムで作成する必要があります。
- Windows上で「ドライブコンバータ」を利用すると、FAT32ファイルシステムに切り替えることができます。

- ・ハードディスクの領域が512Mバイトより小さいと自動的にFAT16ファイルシステムが選択されます。
- ・「ドライブスペース」を利用することができます。

●FAT32ファイルシステムを利用するときのご注意

- ・ハードディスクの領域は512Mバイトから2,047Gバイトまで作成できます。512Mバイトより小さいと自動的にFAT16ファイルシステムが選択されます。
- ・「ドライブスペース」を利用してドライブを圧縮することはできません。
- ・アプリケーションによってはFAT32ファイルシステムでは正常に動作しないものがあります。

1. 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.112)

データのバックアップやパソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設した状態で再セットアップを行うと、増設ハードディスクの内容を消去される場合があります。

2. 領域を削除する

ハードディスクの領域を削除します。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。

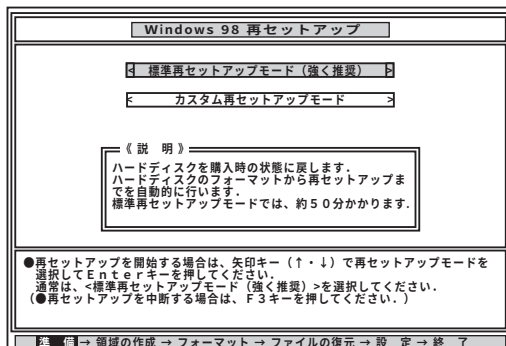


「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk …」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、[Enter]などのキーを押してください。

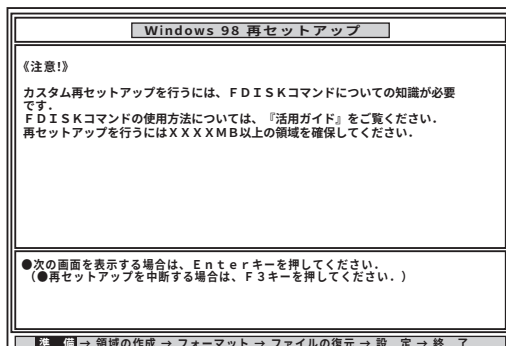
3 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】を押す
再セットアップモードを選択する画面が表示されます。



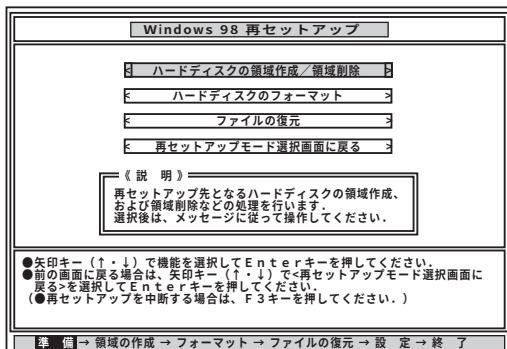
5 「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
カスタム再セットアップモードを選択する画面が表示されます。

6 「ユーザ設定」を選択し、【Enter】を押す
「注意!」の画面が表示されます。

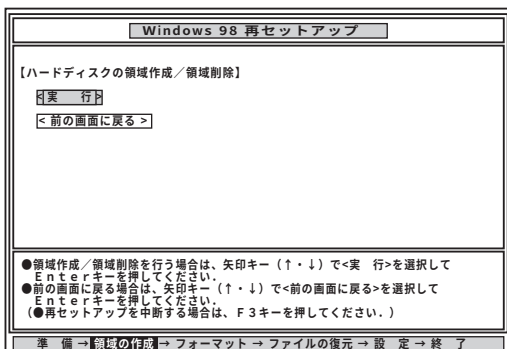


✓ **チェック!!** ハードディスクの最低必要量が表示されていますので、書き留めて「3. 領域を作成する」で基本MS-DOS領域(ドライブ)を作成するときの参考にしてください。

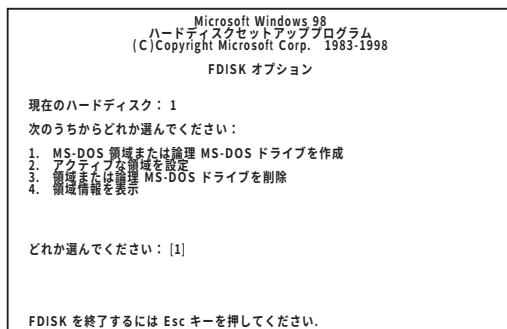
7 【Enter】を押す 次の画面が表示されます。



8 「ハードディスクの領域作成／領域削除」を選択し、【Enter】を押す 「ハードディスクの領域作成／領域削除」の画面が表示されます。



9 「実行」を選択し、【Enter】を押す FDISKオプションの画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないとき(Cドライブのみの場合)は、「基本MS-DOS領域を削除する」(P.142)に進んでください。

ハードディスクに論理MS-DOSドライブ、および拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

● 論理MS-DOSドライブを削除する

10 【3】(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押し、【Enter】を押す

11 【3】(拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押し、【Enter】を押す
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。

12 削除するドライブのキーを押し(Dドライブを削除するときは【D】を押す)、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

13 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

14 【Y】を押し、【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました。」と表示されます。

15 残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて12~14の手順で削除する
すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました。」と表示されます。

16 【Esc】を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました。」と表示されます。

17 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

● 拡張MS-DOS領域を削除する

18 【3】(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押し、【Enter】を押す

19 【2】(拡張MS-DOS領域を削除)を押し、【Enter】を押す
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。

20 【Y】を押し、【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を削除しました。」と表示されます。

21 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

● 基本MS-DOS領域を削除する

- 22** 【3】(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押し、【Enter】を押す
- 23** 【1】(基本MS-DOS領域を削除)を押し、【Enter】を押す
現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの領域を削除しますか」と表示されます。
- 24** 【1】になっているのを確認し、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 25** 「WINDOWS98」と入力し、【Enter】を押す
別のボリュームラベルがつけられているときには、その名前を入力してください。
ボリュームラベルがつけられていないときには、何も入力しないでそのまま【Enter】を押してください。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 26** 【Y】を押し、【Enter】を押す
「基本MS-DOS領域を削除しました。」と表示されます。
- 27** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

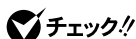
3. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲の中で、新しい領域を確保します。

領域の分け方の例

6Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を3Gバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を2Gバイト、約1Gバイトの論理MS-DOSドライブにする。

6 Gバイトのハードディスク		
基本MS-DOS領域 (FAT32)	拡張MS-DOS領域	
Cドライブ 3 Gバイト	論理MS-DOS ドライブ (FAT32) Dドライブ 2 Gバイト	論理MS-DOS ドライブ (FAT16) Eドライブ 約1 Gバイト



チェック!

ハードディスクに必要な空き容量

カスタム再セットアップで領域を複数に分割するとき、起動ディスク(Cドライブ)は、好きな容量にすることができますが、最初に入れるWindows 98のシステムやアプリケーションよりも大きめにとる必要があります。

必要な容量は、再セットアップ中の「<<注意!>>」の画面(P.138の手順6の画面)に表示されますので、参考にしてください。

● 基本MS-DOS領域を作成する

1 「FDISKオプション」の画面で「どれか選んでください:」の右に「1」(MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)が表示されるので、[Enter]を押す

2 「どれか選んでください:」の右に「1」(基本MS-DOS領域を作成)が表示されるので、[Enter]を押す

ドライブがチェックされた後、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします。)(Y/N)」と表示されます。

(a) 最大サイズの領域を作成したいとき

ハードディスクの領域を分けずに1つの領域にする場合には、次の操作をしてください。

(1) [Y]になっているのを確認し、[Enter]を押す

ドライブがチェックされた後、「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブは、FAT32です。」と表示されます。

(2) [Esc]を押す

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

(3) [Esc]を押す

「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、<いいえ>を選択し、[Enter]を押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

(4) [Enter]を押す

パソコンが自動的に再起動します。

「Windows98再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。「4. ドライブを初期化(フォーマット)する」(P.148)に進んでください。

(b) サイズを指定して領域を作成したいとき

(1) [N]を押し、[Enter]を押す

ドライブがチェックされた後、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります。」と表示されます。

(2) 必要な空き容量以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して[Enter]を押す

例えば、6Gバイトのモデルで3,072Mバイトの領域を確保するときは、[3][0][7][2][Enter]の順にキーを押します(全体に対する割合で入力することもできます。例えば、6Gバイトモデルで3Gバイトの領域を確保するときは、[5][0][%][Enter]の順にキーを押します)。



チェック!!

- ・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(指定領域が512~2047Mバイトの場合)は、FAT32にするときはNを、FAT16にするときにはYを選択して[Enter]を押してください。
- ・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、[Esc]を押します。自動的にFAT32に設定されます。

(3) [Esc]を押す

「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(4) [2] (アクティブな領域を設定)を押し、[Enter]を押す

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください。」と表示されます。

(5) [1]を押し、[Enter]を押す

「領域1がアクティブになりました。」と表示されます。

(6) [Esc]を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域と論理MS-DOSドライブを作成します。

● 拡張MS-DOS領域を作成する

- 3 「どれか選んでください:」の右に「1」(MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)が表示されているのを確認し、**[Enter]**を押す
- 4 **[2]**(拡張MS-DOS領域を作成)を押し、**[Enter]**を押す
ドライブがチェックされた後、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください、拡張MS-DOS領域を作ります」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。
- 5 そのまま**[Enter]**を押す
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 6 **[Esc]**を押す
ドライブがチェックされた後、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。

● 論理MS-DOSドライブを割り当てる

- 7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま**[Enter]**を押す
サイズを指定するときは、数字を入力して**[Enter]**を押す
- ・ 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
「ドライブのサイズが2048Mバイト以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示され、自動的にFAT32に設定されています。
[Esc]を押します
 - ・ 指定したサイズが512Mバイト以上で2,047Mバイト以下の場合「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。
FAT16にする場合は**[Y]**を押し、**[Enter]**を押します。
FAT32にする場合は**[N]**を押し、**[Enter]**を押します。
-  **チェック!!** 「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示されたときは、**[Esc]**を押してください。自動的にFAT16に設定されます。

- ・ 指定したサイズが512Mバイトより少ない場合

「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。

【N】になっているのを確認し、【Enter】を押します。自動的にFAT16に設定されます。

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

手順7を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を拡張MS-DOS領域に割り当ててください。

8 すべての領域が割り当てられると「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます。」と表示されるので【Esc】を押す

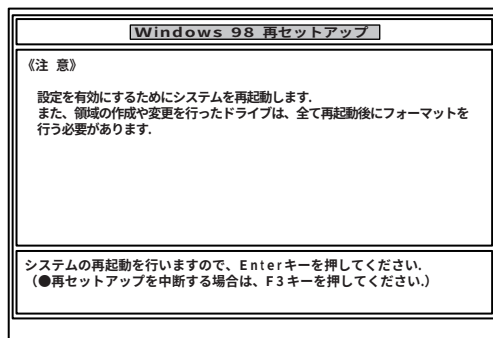
「FDISKオプション」の画面に戻ります。

9 【Esc】を押す

「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

10 【Esc】を押す

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。



11 【Enter】を押す

パソコンが自動的に再起動します。

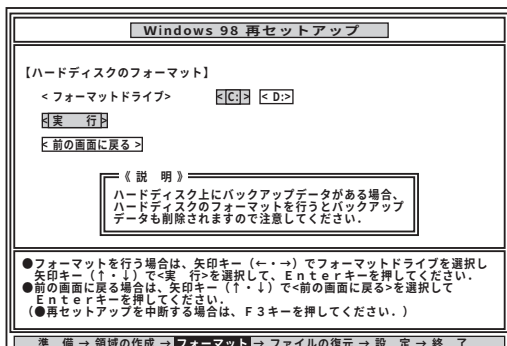
「Windows98再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域が作成されました。次の「ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

4. ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

1 「ハードディスクのフォーマット」を選択し、【Enter】を押す



ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。後で「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択すると全般シートで入力、変更することができます。

2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】を押す

「注意: ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。



チェック!

「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

3 【Y】を押し、【Enter】を押す

フォーマットがはじまります。作成した領域の大きさにもよりますが、5～15分程度かかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す。必要がなければ、【Enter】だけを押す

ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。

「Windows 98再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1～4を繰り返して、フォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【→】を押して選択してください)。

ハードディスクドライブを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)すると、これ以降のドライブ(G、H、I…)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

G以降のドライブについては、「8.フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする」(P.151)でフォーマットします。

次の「5.システムを再セットアップする」に進んでください。

5. システムを再セットアップする

1 「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットする



チェック!!

「バックアップCD-ROMを復元します」と表示されたときは、バックアップCD-ROMがセットされていません。正しくセットして【Enter】キーを押してください。

2 「Windows 98再セットアップ」の画面で「ファイルの復元」を選択し、【Enter】を押す

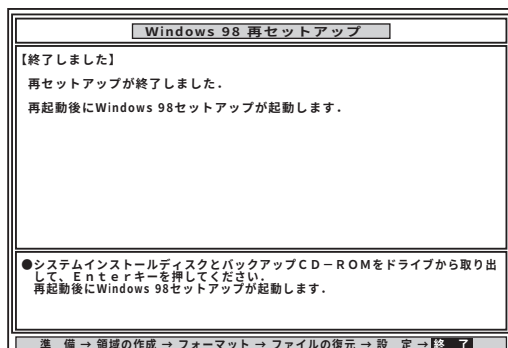
3 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選択されていることを確認し、[Enter]を押す

システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

☑ **チェック!!** ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMや、フロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

☑ **チェック!!** 再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



4 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

5 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

6 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。



6. Windows 98 の設定をする

「購入時と同じ状態にする－標準再セットアップ」の「3.Windows 98 の設定をする」(P.119)をご覧ください、Windows 98 の設定をしてください。

7. Office 2000 Personal / Justsystem Homeを再セットアップする

「購入時と同じ状態にする－標準再セットアップ」の「4. Office 2000 Personal / Justsystem Homeを再セットアップする」(P.121)をご覧ください、Office 2000 Personal / Justsystem Homeを再セットアップしてください。

8. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「4.ドライブを初期化(フォーマット)する」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

C～Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「購入時と同じ状態にする－標準再セットアップ」の「5.別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す」(P.127)以降の手順を行ってください。



チェック!! C～Fのドライブはフォーマットしないでください。

- 1 パソコン本体の電源を入れる
Windows 98 が起動します。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリック
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするハードディスクドライブ(G、H、I...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリック
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 4 「通常のフォーマット」をクリック
- 5 「開始」ボタンをクリック
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリック
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。
- 7 「閉じる」ボタンをクリック
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。



スキャンディスクは、ハードディスクのこわれている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。



スキャンディスクの操作→Windowsヘルプ

- 8 「OK」ボタンをクリック
スキャンディスクのヘルプ(「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」)が、表示されます。
- 9 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリック

- 10** ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある
場合は、手順3～10を繰り返してフォーマットしてください。



チェック!

再セットアップの作業は、これで終わりではありません。必ず「購入時と同じ状態にする-標準再セットアップ」の「5.別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す」(P.127)以降の操作を行ってください。

6

トラブル解決Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたときは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」の「トラブル解決Q&A」とあわせてここを読んでください。

「トラブル解決4つのポイント」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

何か疑問があるときも、ここを読んでください。

この章の内容

トラブル解決4つのポイント	156
トラブル予防4つのポイント	157
お問い合わせの前に (トラブルチェックシート)	159
トラブルを予防するには…	161
はじめて電源を入れたら…	163
電源を入れたが…	164
電源を切ろうとしたが…	173
スタンバイ機能を使おうとしたら… ..	175

パソコンがこわれそう…	177
画面がおかしい…	179
マウスを動かしても…	180
文字を入力しようとしたら…	181
周辺機器を取り付けようとしたら… ..	182
アプリケーションを使っていたら… ..	187
その他	188
アフターケアについて	191

トラブル解決4つのポイント

1

●落ち着いて対処する

あわてて電源を切ったり、マウスを何度もクリックしたりせず、しばらくそのまま待ってください。しばらく待っても動かないときは、強制終了(P.173)を行ってください。

●メッセージが表示されているときは書き留める

必ず紙に書き留めてください。また、「元に戻す」「取り消し」などの機能があったら、その機能を使ってください。

2

●原因が何かを考える

操作を間違えなかったか、どんな操作をしたときに問題が起きたのかなど、原因を考えてみましょう。意外に単純な原因で問題が起ることもあるものです。

●「スキャンディスク」を試してみる

Windows 98やアプリケーションが起動しない、などのトラブルはハードディスクに原因があることも多いです。このようなときは「スキャンディスク」(→Windowsのヘルプ)を行ってください。

3

●このマニュアルまたは『NECマニュアル』の「トラブル解決Q&A」で調べる

このマニュアルの目次を見て、自分のトラブルに当てはまる項目があったら、そのページを読んでください。また、このパソコンに登録されている『NECマニュアル』を調べて解決のヒントがないか探してください。

●インターネットからトラブル対策を探す

Q&A情報を提供しているホームページには次のようなものがあります。

NECパソコンインフォメーションセンター「PICROBO」<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

マイクロソフトサポート情報 <http://www.microsoft.com/japan/sopport>

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのマニュアルやヘルプなどを読んでから、開発元のホームページを見てみましょう。

●Windowsヘルプからトラブル対策を探す

このパソコンにある「Windowsヘルプ」を使えば、「目次」、「キーワード」、「関連するキーワード」から調べたい項目を探すことができます。

4

●トラブルチェックシートに記入する

NECに問い合わせるときは、どんなトラブルが起きたかを、「トラブルチェックシート」(P.159)に記入しておいてください。

●問い合わせる

NECの問い合わせ先は『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

解決

トラブル予防4つのポイント

ハードディスクの空き容量を十分に確保する

Windows 98を快適に使うには、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるようになり、最後にはハードディスクそのものが動作しなくなります。Cドライブの空き容量は、常に100Mバイト以上確保してください。ハードディスクの空き容量が不足してきたら、不要なファイルを削除するか、ハードディスクドライブを増設してください。

参照

ハードディスクドライブの増設→「PART2 周辺機器を利用する」(P.49)

■ハードディスクの空き容量の確認

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 2 「Windows 98(C:)」にマウスポインタをあわせてクリック
画面の左側に使用領域と空き領域が表示されます。

定期的にハードディスクを点検する

ハードディスクを使い続けるとハードディスクにトラブルが発生することがあります。1週間に1回くらいはスキャンディスクを実行することをおすすめします。

参照

スキャンディスクについて→Windowsヘルプ

日ごろから大切なデータをバックアップする

トラブルを解決するのに、再セットアップが必要なことがあります。再セットアップを行うと、ご自分で作成した大切なデータは、すべてハードディスクから消去されてしまいます。大切なデータを失わないためにも、日ごろからデータをこまめにCD-R、CD-RWなどにバックアップしてください。

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

パソコンを使っていると、インターネット、パソコン通信上のやりとりやCD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

- ・ パソコンのウイルス検査は定期的に行う
- ・ 出所不明なCD-ROM、プログラムは使用しない
- ・ 入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・ 覚えがない電子メールや添付ファイルは開かず、削除する
- ・ ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

また、VirusScanによってコンピュータウイルスが検出されたら「コンピュータウイルスが検出された」(P.188)をご覧ください、ウイルスの削除を行ってください。

参照

➡ VirusScanについて→「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」「コンピュータウイルスに備える(VirusScan)」(P.89)

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

あらかじめ、このシートの各項目にご記入いただくと、お問い合わせの際により的確で迅速な対応を受ける助けになります。ぜひ、ご利用ください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型名(保証書に記載されています)	
製造番号(保証書番号)	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
ハードディスク(Cドライブ)の容量	_____ GB(ギガバイト)
ハードディスク(Cドライブ)の空き領域	_____ MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器 品名・型名(メーカー名)	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 98	☐ Windows 2000
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート 2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するときに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するときに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気付いたことがあれば書いてください。

トラブルを予防するには…

●電源は、正しい順序で入れる／切る

「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)をご覧ください。

●大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションソフトは、すべて消去されます。必ず、再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

●メンテナンスウィザードを使って定期的にメンテナンスを行う

メンテナンスウィザードを使って、ハードディスクの軽い障害を修復するスキャンディスク、プログラムをより速く実行するデフラグ、ハードディスクの空き容量をより多くするディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に実行させるようにできます。

設定されたシステムツールは、「マイコンピュータ」の「タスク」フォルダに登録されます。ここで、登録された日時や曜日は後で変更することができます。

メンテナンスウィザードは、次の方法で起動することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「メンテナンスウィザード」をクリック

●改造をしない

本機用のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となることがあります。

● **あらかじめ起動ディスクを作っておく**

Windows 98の調子がおかしくなったり、ちょっと設定を変更したらWindows 98そのものが起動しなくなってしまうことがあります。

こんなときに、起動ディスク(Windows 98を起動するフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。

起動ディスクは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」ボタンで作成できます。

はじめて電源を入れたら…

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』



セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源スイッチを入れて電源を入れてください。名前を入力する画面が表示されたら、そのままセットアップを続けてください。電源を入れても何も表示されなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。本書の「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。

参照 再セットアップ→「PART5 再セットアップするには」(P.109)



ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。電源は切らないでください。

Windows 98のセットアップ中ではないのにパソコンが反応していないとき(ハードディスクアクセスランプが点滅しないなど)は、電源を切って、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。「セットアップの途中で誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で問題を解決してください。



セットアップ時に登録した名前やふりがなを変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前やふりがなは、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、「PART5 再セットアップするには」に従って、再セットアップを行ってください。再セットアップの「Windows 98へようこそ」の画面で名前やふりがなを入力します。



電源を入れたが…

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない / ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイのマニュアルに従って、電源を入れてください。

それでも、点灯しないときは、『はじめにお読みください』をご覧ください、ディスプレイの電源ケーブルを接続し直してください。

もう一度、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。



参照 ▶ NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』に従って、電源ケーブルを接続し直してください。

電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体電源ランプが点灯していないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。



参照 ▶ NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていますか？

ディスプレイのマニュアルを見て、画面の輝度とコントラストを上げてください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



「ピーツ」という音がしない

画面になにか表示されていますか？

画面になにも表示されていないときは、「電源が入らない/ディスプレイに何も表示されない」(P.164)をご覧ください。

スピーカのボリュームが小さくなっていますか？

「PART1 本体の構成各部」の「サウンド機能」(P.39)をご覧くださいの上、スピーカのボリュームを調節してください。



CRTディスプレイの画面の色が部分的におかしい

テレビや、ステレオのスピーカーなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRTディスプレイから遠ざけてください。

CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

CRTディスプレイのマニュアルを見て、画面を消磁してください。

メモ

強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自身が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、ディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁(デガウス)を行ってください。



電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

次の操作を試してみてください。

マウスを動かすか、キーボードのキーを何か([Shift]など)押す

電源を入れてしばらくすると画面が真っ暗になる場合、次の原因が考えられます。

- ・「システムスタンバイ」によるスタンバイ状態
ご購入時には20分すると自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。コントロールパネルの「電源の管理」で設定できます。
- ・ディスプレイの省電力機能が働いた
添付されているディスプレイは省電力機能に対応しているので、「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」で省電力の設定をすると、設定した時間になると、ディスプレイを省電力モードにしたり、ディスプレイの電源を切ったりすることができます。

上記の設定を変更することにより、画面を真っ暗にする時間を変更したり、画面を真っ暗にしないようにすることができます。



Windows 98が起動しない

ハードディスクのファイルにデータエラーがないか、スキャンディスクでチェックしてください。

参照 Windows 98が起動できなかった場合→「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」(P.29)

システム(BIOSセットアップメニュー)の設定が正しくない可能性があります。

次の手順でシステムの設定を購入時の状態に戻して再起動してください。

①別売の拡張ボードを取付けている場合は、そのボードを取り外す

参照 ボードの取り外し方→「PART2 周辺機器を利用する」(P.49)

②システムの設定を購入時の状態に戻す

参照 システムの設定を購入時の状態に戻す→「PART3 システム設定」(P.83)

メモ

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードは初期値には戻りません。

③Safeモードで起動して問題を解決する

SafeモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でSafeモードを起動させてください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、すぐに[F8]を「Microsoft Windows 98 Setup Menu」が表示されるまで押し続ける

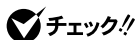
3 「3.Safe mode」を選択し、[Enter]を押す

4 キーボードのタイプを判定しますと表示されたら、
【半角/全角/漢字】を押す

5 「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Safeモードが起動します。

Safeモードで起動して解決できる問題は、ネットワークまたはハードウェアの設定に問題があります。コントロールパネルで設定を確認してから、Windowsを再起動してください。



- Safeモードで実行しているときは、いくつかのデバイスが利用できなくなることがあります。
- CyberTrio-NXをベーシックモードで利用している場合は、Safeモードで起動すると、ハードウェアの設定を変更できません。「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」の「CyberTrio-NX」の「ベーシックモードの利用時の注意」(P.94)をご覧くださいの上、設定を変更してください。



どうしてもWindows 98が起動しないなど、再セットアップする必要がある場合は、「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。



「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「3.Safe mode」を選択するような画面が表示された

「3.Safe mode」を選択するような画面(「Enter a choice:」のところに「3」が表示されている状態)が表示された場合は、以下の手順でSafe modeを起動させてください。

- ①「3.Safe mode」になっていることを確認し、【Enter】を押す
- ②「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【全角/半角/漢字】を押す
- ③「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
Safeモードが起動します。

画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、正常に起動できなかったときに表示されます。起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、Safe modeを選択するような画面が表示された場合は、無理に「1.Normal」を選択しないで、Safe モードで一度起動してください。コントロールパネルで設定を確認してから、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックして「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックして再起動すると、問題がなければ、元の状態に戻ります。

Safe modeで起動して、その後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップが必要になりますので、本書の「PART5 再セットアップするには」(P.109)をご覧ください。



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まった

ハードディスクに異常がないかチェックが行われ、ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。再セットアップの必要があるときは、再セットアップしてください。



前回、電源を切ったときに、正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態のときにACコンセントが抜けたり停電すると、このメッセージが表示されます。

スキャンディスクプログラムを実行してシステムファイルに異常が見つかったときや、スキャンディスクプログラムで異常は見つからないがうまく起動できない、あるいは動作が不安定なときは、再セットアップが必要になります。

定期的にスキャンディスクプログラムを実行してディスクに異常がないかどうか確認してください。



再セットアップ→「PART5 再セットアップするには」(P.109)
スキャンディスク→Windowsヘルプ



「Invalid system disk Replace the disk…」と表示される

フロッピーディスクがセットされている場合

フロッピーディスクから起動したい場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押してください。ハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直し、再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

Windows 98起動ディスクから本機を起動してハードディスクにスキャンディスクを実行して、ハードディスクを調べてください。

問題が発見された場合は画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は本書の「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていない場合も、再セットアップしてください。



Windows 98でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



電源を入るとピーツと音がするまたは何かメッセージが表示されるまたは何も表示されない

フロッピーディスクがセットされている場合

フロッピーディスクがセットされている場合は、そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、本機では扱えないフロッピーディスクであることを示しています。フロッピーディスクから起動したい場合は、本機で利用できるシステムの入ったフロッピーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再起動してください。

ハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直し、再起動してください。



本機で利用できるフロッピーディスクについては、「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」(P.33)をご覧ください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

フロッピーディスクがセットされていないのに起動時にエラーメッセージが表示されたりする場合は、メッセージを書き留めるかまたは症状を書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。

 参照 NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



エラーメッセージが表示された

エラーメッセージを書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。

 参照 NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



Windows 98起動時に、「コンピュータは何度か待機状態になり応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」とメッセージが表示された

「いいえ」を選択してください。「はい」を選択すると、以後スタンバイ機能が使えなくなります。



パスワードを忘れてしまった

BIOSセットアップメニューでのパスワード(ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード)の場合

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを忘れてしまった場合は、「PART3 システム設定」の「パスワードの解除」(P.85)をご覧ください、パスワードを解除して、再設定してください。

Windows 98でのパスワードの場合

Windows 98のパスワードを忘れてしまった場合、【Esc】を押すと、Windows 98が起動して、本体は使用できますがネットワークには接続できなくなります。再設定したい場合には、再セットアップが必要になりますので、本書の「PART5 再セットアップするには」(P.109)をご覧ください、再セットアップしてください。



Windows 98のパスワードは、ネットワークの設定などをしたら、設定されるようになります。ネットワークへのログインパスワードについては、ネットワーク管理者にご相談ください。

電源を切ろうとしたが…

本機の電源は必ずこの手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データやプログラム、本機がこわれてしまう場合があるので、特に注意してください。



電源を切れない。強制的に電源を切りたい

本機の電源を切るときは、「正しい電源の切りかた」に従ってください。

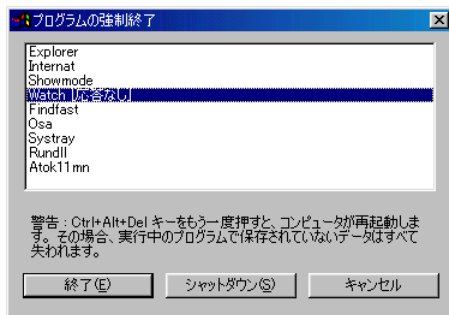
正しい電源の切りかた

「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源を切れないときには、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の「プログラムの強制終了」に従ってください。

プログラムの強制終了

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押すと、「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。



プログラム名の右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集した文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」を選択してください。

この方法でも電源を切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従ってください。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。



- 強制的に電源を切った場合は、電源を入れ直してWindowsを起動した後、もう一度正しい手順で電源を切ってください。
- Windows 98セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認し、正常動作中は電源を切ったりしないでください。

スタンバイ機能を使おうとしたら…

本機には、作業を中断するときなどに、作業内容を記憶して本機の一部の電源を切るスタンバイ機能があります。

参照

スタンバイ機能→「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)



スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない

アプリケーションや周辺機器は省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にしようとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていない場合、作業内容は保持されません。

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。



自動的にスタンバイ状態になってしまう

ご購入時には、約20分間パソコンを使わないとスタンバイ状態になるように設定されています。スタンバイ状態にならないようにするには、「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定を変更します。



スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してから、もう一度やり直してください。」と表示された。またはスタンバイ状態にできない

実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

パソコンがこわれそう…



パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐ電源を切って、電源ケーブル、ACアダプタのプラグをコンセントから抜き、ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



チェック!!

本機を安全に使用するための注意事項を『はじめにお読みください』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

「PART7 付録」の「本機のお手入れ」(P.201)に従って、柔らかい布などでふき取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご購入元にご相談ください。



チェック!!

発煙、発火や故障の原因となります。



CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブから異常な音がする

CD-ROMなどにラベルなどを貼っていませんか？

CD-ROMなどにラベルなどを貼ると、回転時にバランスがとれず、異常な音が出る場合があります。

CD-ROMなどの表面にはラベルなどを貼らないでください。



画面がおかしい…

参照

「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」(P.26)
ディスプレイに添付されたマニュアル



画面の表示位置やサイズがおかしい

添付のディスプレイを使っているとき

ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。また表示できない解像度と表示色については「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」も合わせてご覧ください。

別売のディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節することができます。詳しくはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

マウスを動かしても…

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは    など、マウスポインタの位置やパソコンの動作状態によって形を変えることがあります。

参照

マウスの設定を変えるには→Windowsヘルプ



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、マウスの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

マウスと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧ください。マウスとキーボードと本体を接続しなおしてください。マウスのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照

プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが…」(P.173)

文字を入力しようとしたら…

文字は、キーボードから入力します。

漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは、[Alt]を押したまま【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオンにします。

使用できる日本語入力システムはモデルによって異なります。

参照

キーボードの設定を変えるには→「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」(P.18)



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧ください、キーボードと本体を接続しておしてください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

次に、キーボードと本体の接続を確認してください。

参照

プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが…」(P.173)

周辺機器を取り付けようとしたら…

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルを見て接続してください。

参照

周辺機器のマニュアル

「PART2 周辺機器を利用する」(P.49)



新しく周辺機器を取り付けたらWindows 98が起動しなくなった

このようなときは周辺機器のドライバが原因でWindows 98が起動できなくなったと考えられます。

SafeモードでWindows 98を起動して、トラブルになったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。

次の操作に従って設定してください。

◆ SafeモードでWindows 98を再起動します。

- 1 パソコンの電源を入れ、Windows 98を起動させる
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F5】キーを押し続ける
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キー押す
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリック

参照

CyberTrio-NXが「ベーシックモード」の状態になっていると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができません。設定変更ができるようにするには「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」の「CyberTrio-NX」(P.91)をご覧ください。

◆新しく取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」、「コントロールパネル」の順にクリック
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 3 追加した周辺機器のアイコンをダブルクリック
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「全般」タブをクリックし、「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の☒をクリックして☐ (オフ)にする
- 5 「OK」ボタンをクリック
Windows 98を再起動すると、通常モードで立ち上がります。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器を外してください。

◆周辺機器を使いたいときはドライバを更新します。
周辺機器の最新のドライバを用意してください。

- 1 前記の1から3の手順を行う
- 2 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック
以降は画面の指示に従ってください。



最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、周辺機器のドライバを更新することがあります。Windows Updateするには「スタート」ボタン→「Windows Update」をクリックしてください。



「Windows 98 CD-ROM ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合、次のようにして対処してください。

- 1 「OK」ボタンをクリック
「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。
- 2 「C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」と入力し、「OK」をクリック
以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。



「ドライバが見つかりません」と表示されてドライバのインストールができない

新しく周辺機器を接続して、周辺機器に添付されているWindows 98用のドライバディスクなどからドライバをインストールする場合、「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示され、「デバイスドライバウィザード」が表示されます。「次へ」ボタンをクリックし「場所の指定」ダイアログボックスで周辺機器に添付されているマニュアルなどにのっているフォルダを指定すると、「ドライバが見つかりません」と表示され、「場所の指定」ダイアログボックスに戻ってしまい、ドライバのインストールが実行できません。

この場合、次のようにして対処してください。

- 1 「場所の指定」ダイアログボックスで「完了」ボタンをクリックして処理を終了させる
- 2 デバイスマネージャの画面を表示させる

- 3 「その他のデバイス」の左の **+** をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 4 「ドライバ」タブをクリック
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリック
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリック
- 7 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック



- 8 「検索場所の指定」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にし、周辺機器のマニュアルなどにのっているフォルダを指定する
- 9 「次へ」ボタンをクリック
以降は画面の指示に従って、ドライバをインストールしてください。



PCIボードを取り付けたが動作しない。PCIボードを取りつけたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

PCIボードをパソコンに取り付けようとしても、割り込みが不足していることがあります。そのときは、BIOSセットアップメニューで、使っていない割り込みデバイスの割り込みを、「Disabled」に設定してください。例えば、「OnBoard Serial Port1」を「Disabled」に設定すると、それまでシリアルポートに割り当てられていた割り込みをPCIボードに割り当てることができます。

例)

- 1** 本体の電源を入れる
- 2** 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、【F2】を押してBIOSセットアップメニュー「AMIBIOS EASY SETUP UTILITIES」を起動させる
- 3** BIOSセットアップメニューの「Advanced」→「Peripheral Setup」→「Onboard Serial Port1」の設定を「Disabled」にする
- 4** 【F10】を押し、【Enter】を押してBIOSセットアップメニューを終了させ、再起動する



他社の周辺機器を使用する場合、最新のドライバを各メーカーより入手してください。お持ちのドライバが最新かどうかかわからないときは、各メーカーへお問い合わせください。



アプリケーションを使っていたら…

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



スタンバイ状態から復帰しない

そのアプリケーションはスタンバイ機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ機能は使わないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ってください。

参照

スタンバイ機能→「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)

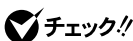
その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。



コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。



チェック!

VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「NECマニュアル」→「アプリケーションの追加と削除」の「VirusScan」を参照してVirusScanをインストールしてください。

● ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除した後、コピーし直してください。バックアップも感染している可能性があるので、ウイルス検査してください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan for Windows 95/98」などのウイルス除去機能があるソフトウェアでそのファイルのウイルスを除去してください。さらに、2次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、MO(光磁気ディスク)などはすべてウイルス検査してください。

● 検査結果を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

● 届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA)セキュリティセンターウイルス対策室
本部 〒113-6591 東京都文京区本駒込2丁目28番8号

文京グリーンコート センターオフィス16階

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



西暦2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、西暦2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが西暦2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



用語 西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。

西暦2000年を迎えた時などに、アプリケーションによっては、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。

これがコンピュータの西暦2000年問題です。

本機に添付されているアプリケーションは西暦2000年問題に対応しています。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』と『活用ガイド』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法：電話/FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。
- ・ お申し込み先：NEC PCマニュアルセンター
(電話) 03-5476-1900
(FAX) 03-5476-1967
営業時間：月～金曜日
AM10:00～12:00 PM1:00～4:00
(土日祝日年末年始を除く/FAXは24時間受付)

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。
ホームページアドレス：<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

なお、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は、再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。
マニュアルの書名やパソコンの型名は、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。



本機を海外で使いたい

海外では使えません。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、本機から遠ざけてください。また、本機は、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



本機を廃棄したい

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

次のOSが使えます。

- ・ このパソコンにあらかじめインストールされているWindows 98 Second Edition(市販のWindows 98およびWindows 98 Second Editionは、日本語版、英語版、ともに利用できません。)

- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows 2000を使う場合は、アプリケーションCD-ROMにある次のファイルに書かれている説明をご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>:\WIN2K\Readme.txt

なお、標準搭載デバイスや増設機器、周辺機器、インストールアプリケーションがWindows 2000ではご利用できない場合があります。それらの情報は、98Information(<http://www.nec.co.jp/98/>)で、順次ご提供します。
なお、弊社製以外の製品については、各メーカーにお問い合わせください。

Microsoft® Windows® 2000 Server

Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Serverは利用できません。

Windows 95、Windows NTをお使いになることはできません。

アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、または添付の『NEC PC あんしんサポートガイド』の「故障かなと思ったら」に記載のサービス窓口で承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PC あんしんサポートガイド』または本書をご覧ください。

本機に添付されているアプリケーションに関するお問い合わせは、添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』に記載されている「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」をご覧ください。また、本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するお問い合わせは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NEC サービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管)

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です(有料)。

- フロッピーディスク
- CD-ROM
- NEC製のマニュアル

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『NEC PC あんしん サポートガイド』をご覧ください。



本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。

また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、登録内容の変更を行ってください。

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。

第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

- ① 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
- ② 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ③ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください)

譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へ、お知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でご返送ください。

ただし、『98OFFICIAL PASSお客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

- ① 本体保証書番号(製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)※
※「Serial No.」がない場合は不要です。
- ② 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
- ③ あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)
NEC
98OFFICIAL PASS登録センター係行

付 録

この章の内容

機能一覧	196
割り込みレベルとDMAチャネル	200
本機のお手入れ	201
索引	204

機能一覧

仕様一覧

本体機能仕様

機種名		VU50L/35B	VU55L/35D	VU55L/37D
CPU	CPU種別	3DNow!™テクノロジー AMD-K6®-2プロセッサ		
	クロック周波数	500MHz		550MHz
	1次キャッシュ	64KB (CPU内蔵)		
	システムバス	100MHz		
メモリ	2次キャッシュ	512KB		
	BIOS ROM (Flash ROM)	256KB、プラグ&プレイ対応		
	メインRAM	64MB (SDRAM-DIMM) [DIMMsロット×2 (内1スロットにメモリ実装済)] (最大256MB)		
	ビデオRAM	4MB (メインメモリを共有) (BIOSセットアップメニューにより、2MB、8MBに変更可能)		
表示機能	グラフィックアクセラレータ	Silicon Integrated System社製 SiS530 (AGP対応)		
	解像度・表示色	640×480ドット 最大1,677万色 800×600ドット 最大1,677万色 1,024×768ドット 最大1,677万色 1,280×1,024ドット 最大65,536色		
サウンド機能		ESS製ES1938 Solo-1 PCM録音再生機能内蔵 (ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、全二重対応 (モノラル、量子化8ビット時)		
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ (3モード対応) ×1		
	ハードディスクドライブ※1	内蔵約15GB UltraATA33対応※2		内蔵約20GB UltraATA33対応※3
	CD-ROMドライブ/ CD-R/RWDライブ	CD-ROMドライブ内蔵 最大40倍速		CD-R/RWDライブ内蔵 読み込み：最大32倍速 (CD-ROM) 書き込み：最大8倍速 (CD-R) ：最大4倍速 (CD-RW)
インターフェイス	アナログディスプレイコネクタ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインターフェイス) (ミニD-sub15ピン)		
	シリアルコネクタ	最大115,200bps×1 (D-sub9ピン)		
	パラレルコネクタ	D-sub25ピン×1		
	USB	2 (本体正面×1、本体背面×1)		
	その他	MIDI/JOYSTICKインターフェイス×1 (D-sub15ピン)		

- ※1 ハードディスクの容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。OSから認識される容量は、実際の値より少なく表示されることがあります。
- ※2 Windowsのシステムから認識される容量は、約13.9GBとなります。
- ※3 Windowsのシステムから認識される容量は、約18.6GBとなります。

機種名		VU50L/35B	VU55L/35D	VU55L/37D
インターフェイス	サウンド関連			
	入 力	マイク入力：モノラル、ミニジャック、供給電源2.5V、マイク出力インピーダンス600Ω、マイク感度-48db ライン入力：ステレオ、ミニジャック、入力インピーダンス10KΩ、入力レベル最大2Vtms、ゲイン-6db		
		出 力		
	通信関連		FAXモデム装備（電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ）	
	入力関連			
	キーボード	本体背面のPS/2接続キーボードコネクタに接続		
	マウス	本体背面のPS/2接続マウスコネクタに接続		
ファイルベイ	5型ベイ	2スロット（CD-ROMドライブまたはCD-R/RWDドライブで1スロット占有済）[空きスロット1]		
	内蔵3.5型ベイ	2スロット（HDDで1スロット占有済）[空きスロット1]		
拡張スロット	PCIスロット	2スロット〔フルサイズ×2（内蔵3.5型ベイにハードディスクドライブを増設した場合はハーフサイズ×2となります）〕		
通信機能	FAXモデムボード標準実装（専用スロットに標準装備）、Resume On Ring機能対応			
	モデム	データ転送速度 最大56Kbps（V.90/K56flex™）/最大33.6Kbps（V.34） エラー訂正V.42 MNP4、データ圧縮V.42bis MNP5		
		FAX		
	カレンダー時計	電池によるバックアップ		
省電力機能	内蔵HDDのモータON/OFF制御、省エネ対応ディスプレイの制御			
消費電力	本体標準構成時	約49W（最大75W）		約57W（最大75W）
	スタンバイ状態時	約25W		約27W
エネルギー消費効率	R区分 0.018			
環境条件	電源	AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応		
	温湿度条件	10～35℃、20～80％（但し結露しないこと）		
外形寸法	本体	181（W）×389（D）×363（H）mm（ゴム足含む）		
	キーボード	456（W）×169（D）×40（H）mm		
質量	本体	約9.7Kg		約9.8Kg
	キーボード	約0.88Kg		

セットスピーカの機能仕様

最大定格出力	1W + 1W
外形寸法	約78 (W) × 120 (D) × 180 (H) mm (片側)
重量	スピーカ (右) 約370g、スピーカ (左) 約340g、 ACアダプタ約180g (ケーブル含む)

FAXモデムボード機能仕様(ATコマンドについては『NECマニュアル』をご覧ください)

● 機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインタフェース
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット - V.90 - K56flex - V.34 - V.32bis - V.32、V.22bis、V.22、V.21 - V.42LAPMおよびMNP4エラー訂正 - V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 - V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・Hayes ATコマンドセット - AT、Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング (DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

● FAX機能

交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps 注
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM : 14400/12000/9600/7200bps DPSK : 4800/2400bps FSK : 300bps
送信レベル	-10~-15dBm (出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド (CLASS1)

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

●データモデム機能

適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信： 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 注 受信のみ： 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/ 48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/ 40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33333/ 32000/30667/29333/28000bps 注
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM： 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/48000/ 46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/40000/38667/ 38000/37333/36000/34667/34000/33600/33333/32000/31200/ 30667/29333/28800/28000/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200bps QAM： 9600/7200bps DPSK： 4800/2400/1200bps FSK： 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42 (LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-10~-15dBm (出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

●NCU機能

適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル (10/20PPS) トーンダイヤル (DTMF)
NCU形式	AA (自動発信 / 自動着信型) MA (手動発信 / 自動着信型) MM (手動発信 / 手動着信型) AM (自動発信 / 手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンド (CLASS1)

割り込みレベルとDMAチャネル

割り込みレベル一覧

購入時の割り込みレベルは、次の通りです。

割り込み優先順位	割り込みデバイス
IRQ00	システムタイマ
IRQ01	キーボード
IRQ02	割り込みコントローラ
IRQ03	シリアルポート(COM2)
IRQ04	(空き)
IRQ05	サウンド
IRQ06	フロッピーディスクコントローラ
IRQ07	パラレルポート
IRQ08	リアルタイムクロック
IRQ09	(空き)
IRQ10	USBインタフェース
IRQ11	FAXモデム
IRQ12	マウス
IRQ13	数値演算コプロセッサ
IRQ14	IDEコントローラ(プライマリ)
IRQ15	IDEコントローラ(セカンダリ)

DMAチャネルの割り当て

購入時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。

DMA	データ幅	システムリソース
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	サウンド
2	8または16ビット	フロッピーディスクコントローラ
3	8または16ビット	(空き)
4		DMAコントローラ
5	16ビット	(空き)
6	16ビット	(空き)
7	16ビット	(空き)

本機のお手入れ

本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。

⚠ 注意



感電注意

- お手入れの前には、本機の電源をOFFにして電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



発火注意

- 電源ケーブルのプラグにほこりがたまったままの状態、本機を使用しないでください。
電源ケーブルのプラグにほこりがたまったまま長い間清掃しないと、プラグのピンの間で放電（トラッキング現象）が起こり、火災の原因となります。

フロッピーディスクドライブ、 CD-ROMドライブまたは CD-R/RWドライブ

クリーニングディスク（別売）を使ってクリーニングします。ひと月に1回を目安にクリーニングしてください。

パソコン本体、スピーカ

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

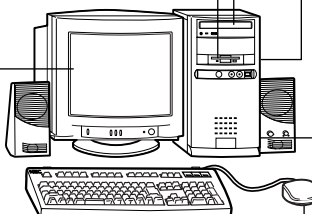
パソコンの内部

長時間使うとほこりがたまるので、定期的に清掃してください。パソコン内部の清掃については、ご購入元、NECに相談してください。

NECのお問い合わせ先→『NEC PCあんしんサポートガイド』

ディスプレイ

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。また、ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。



電源ケーブル

電源ケーブルのプラグを長時間ACコンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的に清掃してください。

キーボード

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECに相談してください。

NECのお問い合わせ先→『NEC PCあんしんサポートガイド』

マウス

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

マウスの内部

マウスポインタの動きが悪いときは、ボールとローラーもクリーニングしてください。

→「マウスのクリーニング」（次ページ）



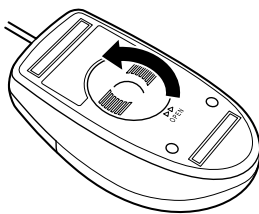
チェック!!

- ・水や中性洗剤は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきは、使用しないでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

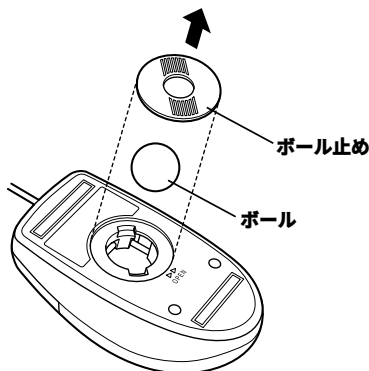
マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4～6の手順は省略してもかまいません。

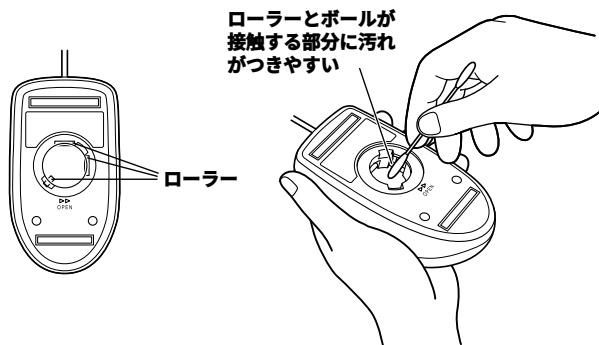
- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



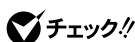
- 3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで十分に乾燥させる
- 7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とす
汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります（このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などを付けないでください）。



- 8 ボールをマウスに戻す
- 9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定



- ・クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。
- ・クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにしてください。
- ・水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
- ・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの外装をいためたり、故障の原因となったりします。
- ・ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。

索引

英数字

- 2000年問題 189
- 3.5インチフロッピーディスクドライブ 2
- 5インチベイ 76
- ACPIモード 10
- AC電源コネクタ 5
- APMモード 10
- BIOSセットアップメニュー 172
- Caps Lock 20
- CD-R/RWアクセスランプ 4
- CD-R/RWドライブ 3
- CD-ROM 178
- CD-ROMアクセスランプ 4
- CD-ROMドライブ 3, 35
- CD-ROMドライブの取り外し 79
- CRT 165
- CyberTrio-NX 91
- CyberWarner-NX 96
- DirectCD 107
- DMAチャンネル 54, 200
- Easy CD Creator 105
- FAT16ファイルシステム 136
- FAT32ファイルシステム 136
- FAX通信機能 41
- FAXモデムボード 6, 41
- Invalid system disk Replace the disk... 171
- Microsoft Windows 98 Startup Menu ... 169
- MIDI/ジョイスティックコネクタ ... 7
- NEC Soft MPEG1.0 100
- Num Lock 20
- Num Lockランプ 19
- Nキーロールオーバー 24
- PCIスロット 7, 66
- PCIボード 66, 186
- PCIボードの取り付け 67
- PCポータル 101
- PICROBO 50
- PS/2互換マウスポート 53
- PS/2接続キーボードコネクタ 5
- PS/2接続マウスコネクタ 5
- Readme 53
- RGBケーブル 164
- Safe mode 169
- Safeモード 167
- Scroll Lock 20
- USBコネクタ 4, 6
- USB接続キーボード 6, 24
- VirusScan 89
- VRAMの容量 26

Webサイト	50
Windows 2000	190
Windows 98	167
Windows NT	190
Windowsキー	21

ア行

アース端子	5
赤い「×」	53
アナログRGBコネクタ	6
アフターケア	191
アプリケーション	187, 88
アプリケーションキー	21
異常	178
エラーメッセージ	172
音量ボリューム	40

カ行

海外	190
解像度	26
拡張MS-DOS領域	135, 136
カスタム再セットアップ	114, 128, 131, 134
加入電話回線	42
カバーをロック	8
画面	179
画面の表示位置	179
キーボード	18, 181
黄色い「!」	53
起動ディスク	162

基本MS-DOS領域	135, 136
強制的に電源を切る方法	174
コンピュータウイルス	89, 158, 188

サ行

再セットアップ	110
再入手方法	192
サウンド機能	39
雑音	190
システムインストールディスク	113
システムスタンバイ	166
修復	192
周辺機器	50, 55, 182
重要な情報	53
出力コネクタ	40
消磁	165
省電力機能	166
譲渡	192
消耗品と消耗部品	191
初期化(フォーマット)	148
シリアルコネクタ	6
スーパバイザパスワード	172
垂直走査周波数	26, 28
水平走査周波数	26
スキップセクタ	32
スタンバイ機能	175
スタンバイ状態	9, 11
砂時計	180, 181
スピーカケーブル	40
セキュリティロック	8

接続可否	50
接続前の確認	50
増設RAMサブボード	61
増設RAMサブボードの取り付け	64
増設RAMサブボードの取り外し	63
外付けスピーカ	39

タ行

通風孔	7
データ通信機能	41
ディスクアクセスランプ	2
ディスクイジェクトボタン	4
ディスククリーンアップ	161
ディスクドライブエラー	170
ディスクトレイイジェクトボタン	4
ディスプレイ	26
デガウス	165
デバイスドライバ	51
デバイスマネージャ	50
電源	9, 163, 164
電源ケーブル	70
電源コネクタ	40
電源スイッチ	3, 39
電源の状態	9, 10
電源ランプ	3, 40
電子マニュアル	47
添付品	192
電話回線	42
電話回線用モジュラーコネクタ	7
電話機用モジュラーコネクタ	7

ドライブ番号	29
トラブル	53
トラブルチェックシート	159

ナ行

内蔵3.5インチベイ	72
名前	163
日本語入力	22
日本語入力システム	181

ハ行

パーティション	29
ハードディスクアクセスランプ	4
ハードディスクドライブ	29
廃棄	190
パスワード	85, 172
バックアップ	31, 161
バックアップCD-ROM	113
パラレルコネクタ	7
表示位置	179
表示色	26
標準再セットアップ	115
ファイルベイ	4
ファイルベイカバー	2
ファイルベイカバーの取り外し	60
ファイルベイ用内蔵機器	70
フォーマット	34
プラグ&プレイ	50
フリーズ	163, 181
ふりがな	163

不良セクタ	32
プレーヤ-NX	103
プログラムの強制終了	173
フロッピーディスクドライブ	33
フロントマスク	5
フロントマスクの取り外し	59
ヘッドホン端子	3
ヘッドホンボリューム	4
ヘルプ	46
補修用性能部品	191
保守サービス	191
補足説明	53

マ行

マイクロホン端子	6
マウス	25, 180
マウスポインタ	180
マニュアル	189
マニュアルセンター	189
メモリ	61
メンテナンス	161
メンテナンスウィザード	161
文字	181

ヤ行

ユーザパスワード	172
----------------	-----

ラ行

ライトプロテクト	33
ライトプロテクトノッチ	33

ライン出力端子	6
ライン入力端子	6
リソース	50
リソースの競合	53
リフレッシュレート	28
レフトカバーの取り付け	58
レフトカバーの取り外し	57
論理MS-DOSドライブ	136

ワ行

割り込みレベル	54, 200
---------------	---------



このマニュアルは再生紙（古紙率：表紙50%、
本文100%）を使用しています。

VALUESTAR 活用ガイド

二版 2000年5月

NEC

P

808-879842-003-A1